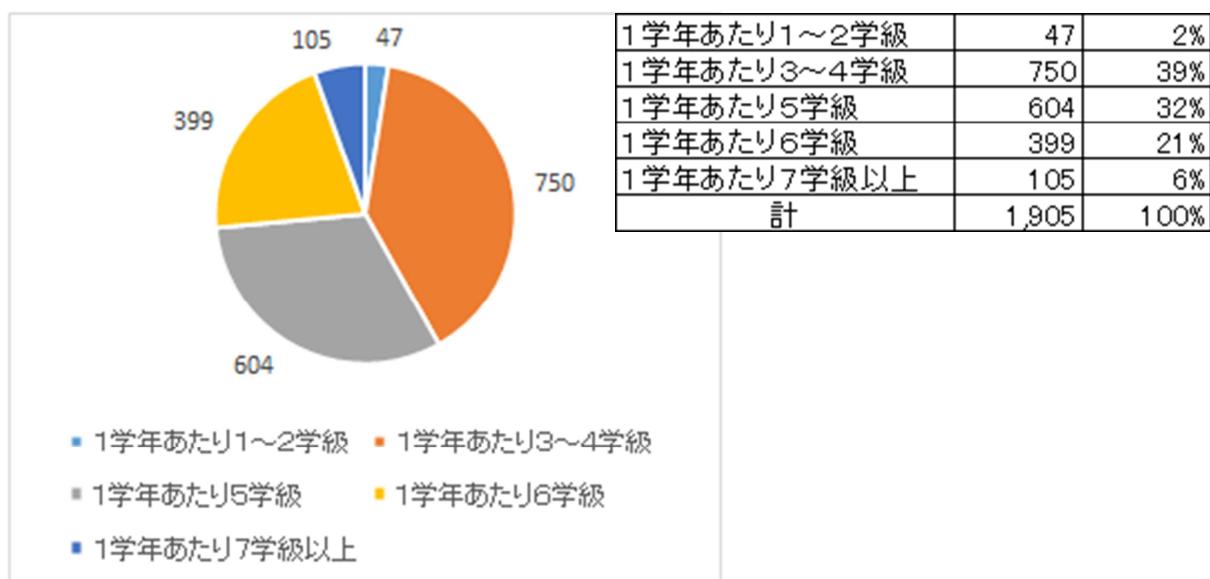


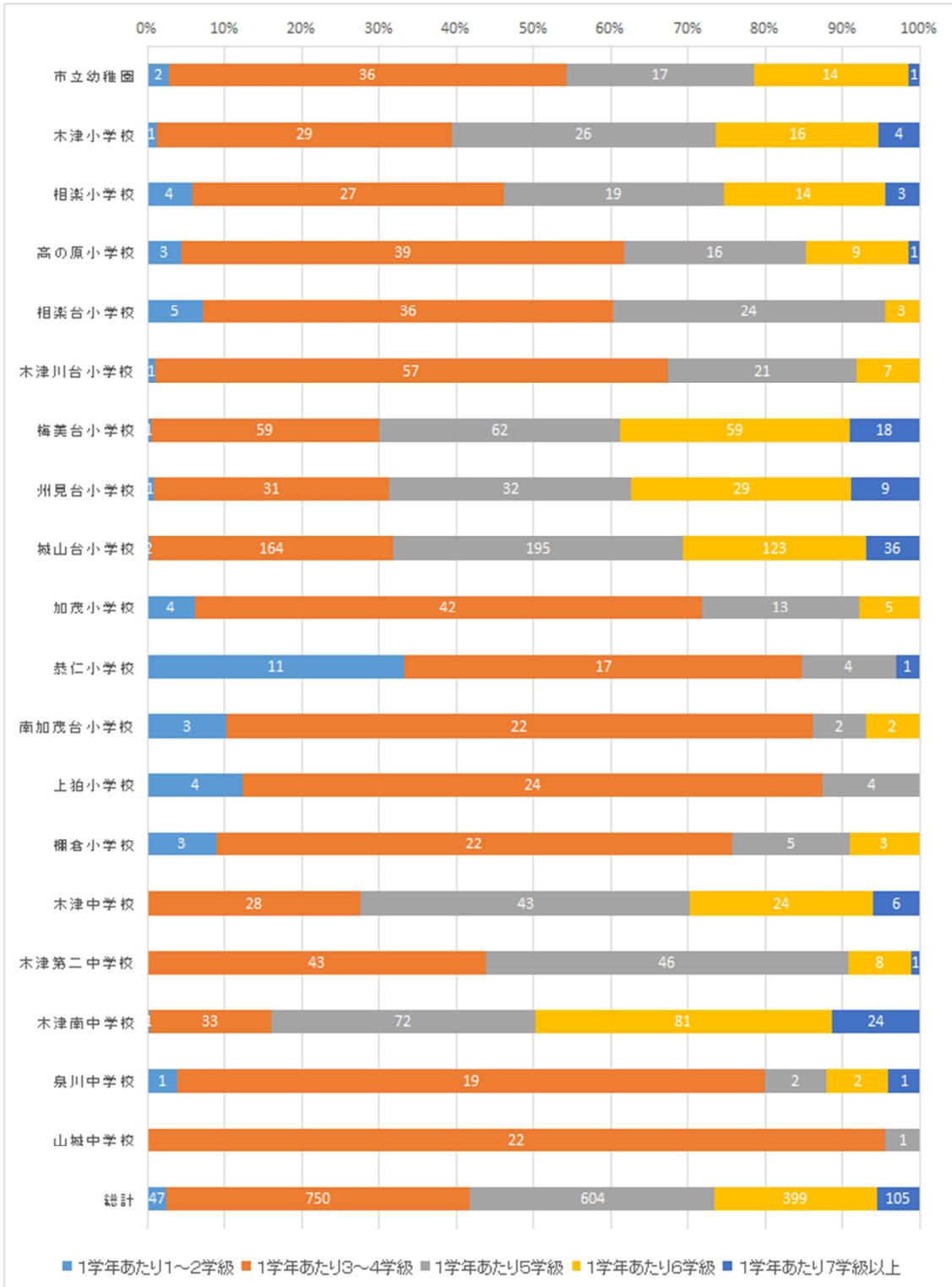
問4－1（中学校について）

中学校での学級数について、法令の標準は「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）」になっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われますか。1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「1学年あたり3～4学級（39%）」でした。二番目に高かった「1学年あたり5学級（32%）」を合計すると、全体の71%でした。



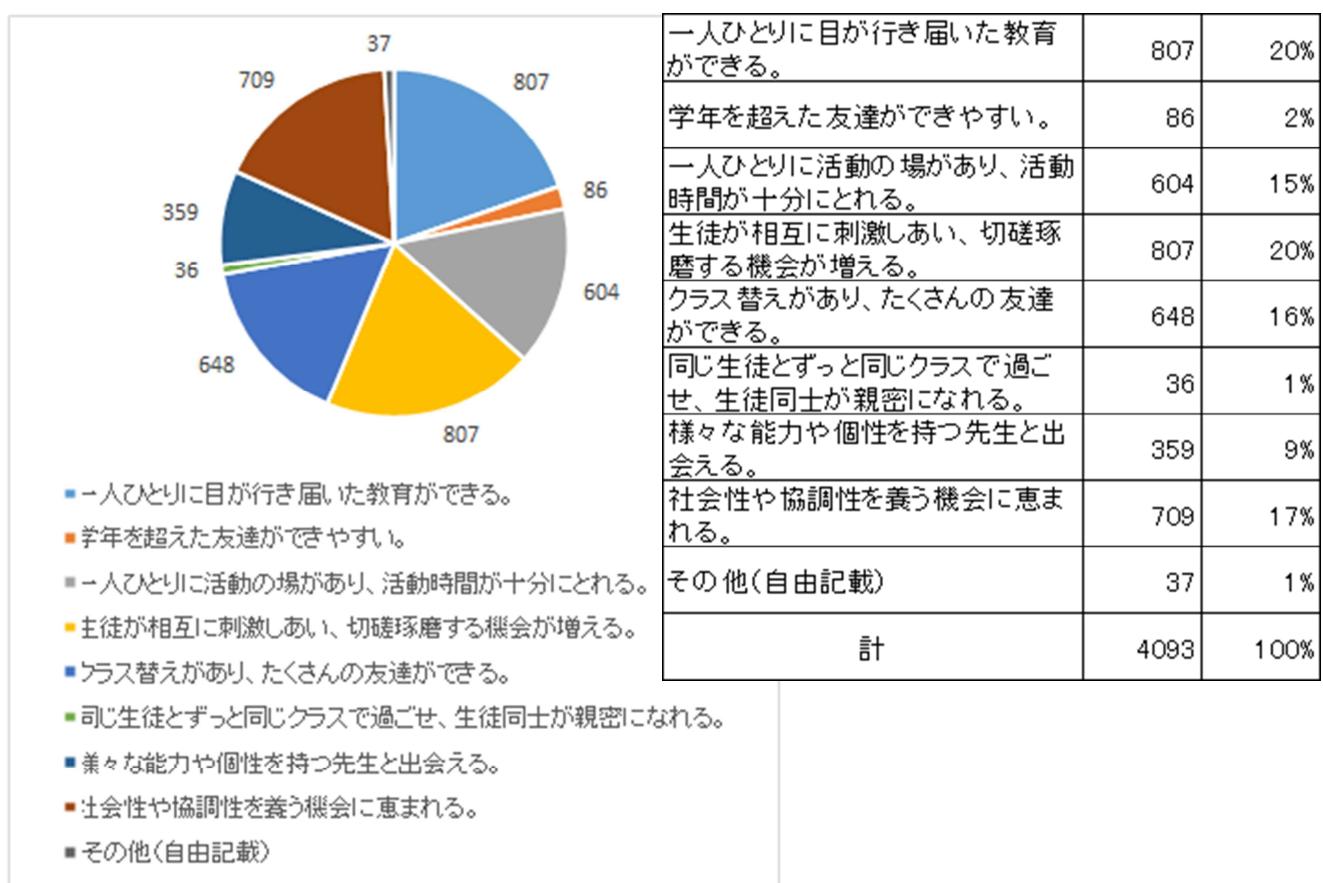
【園・小学校・中学校別】



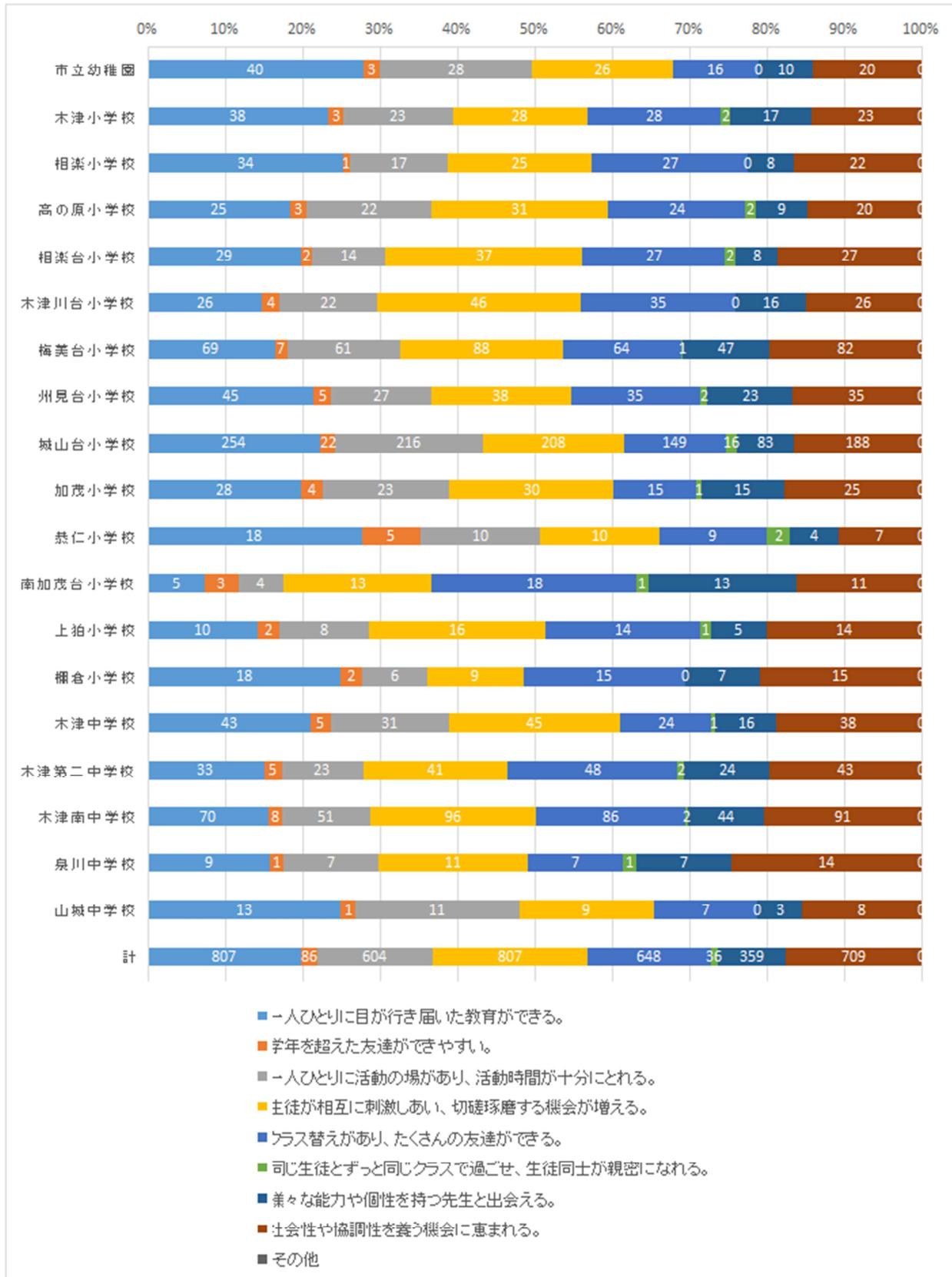
問4-2（中学校について）

問4-1で選択された学級数の理由を2つお答えください。

一番回答率が高かったのは「一人ひとりに目が行き届いた教育ができる(20%)」と「生徒が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える(20%)」で、次に15%程度に3項目「社会性や協調性を養う機会に恵まれる(17%)」「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる(16%)」「一人ひとりに活動の場があり、活動時間が十分にとれる(15%)」となっています。



【「その他」以外の園・小学校・中学校別】

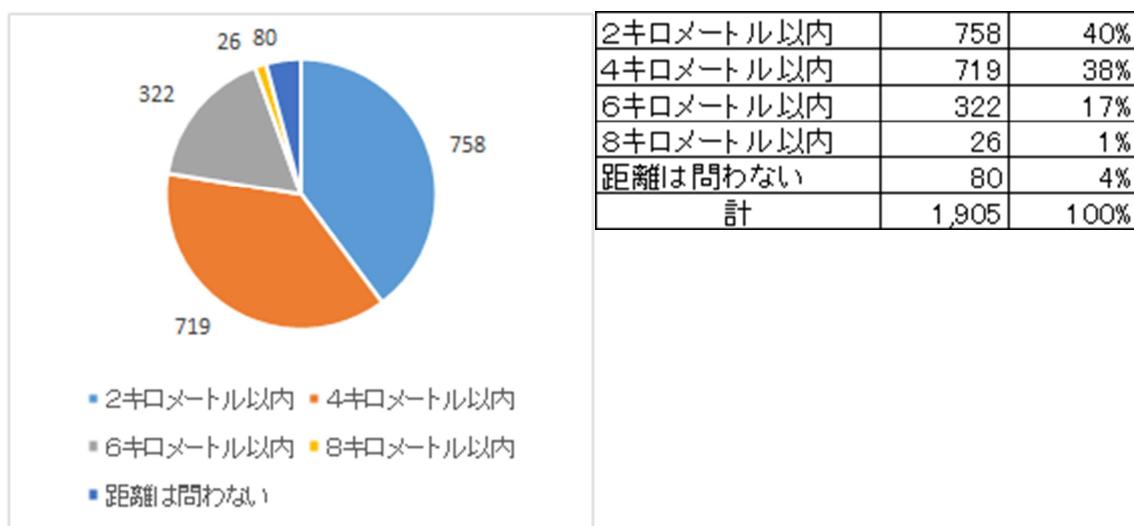


問4－3（中学校について）

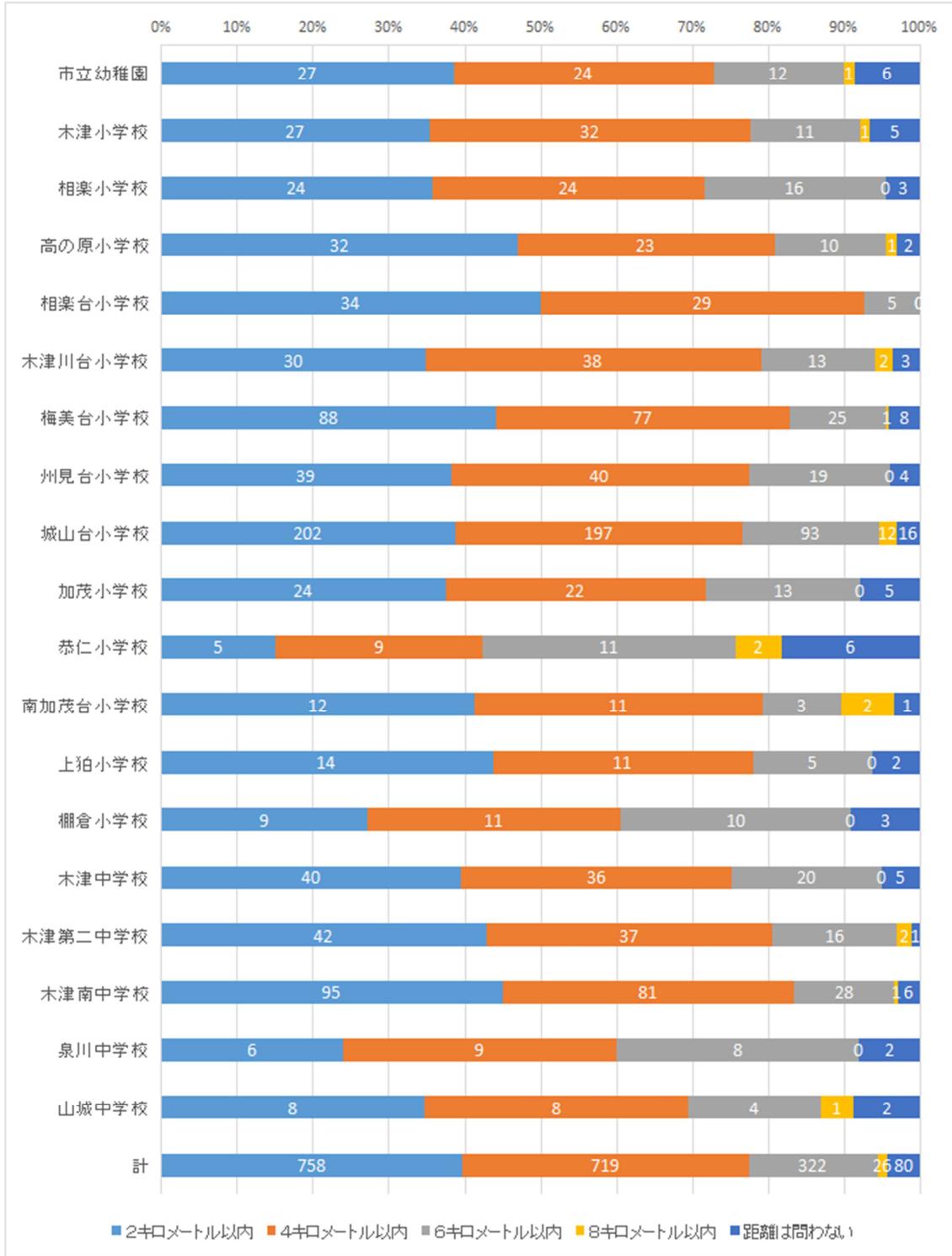
中学校での通学距離について、法令の標準は「おおむね6キロメートル以内であること」「おおむね1時間以内を目安とする」になっていますが、徒歩や自転車により、どの程度までが通学可能範囲と思われますか。1つ選択してください。

※徒歩による1kmの所要時間は、おおむね15分前後としています。

一番回答率が高かったのは「2キロメートル以内（40%）」で、次に回答率の高かった「4キロメートル以内（38%）」を合計すると、全体の78%でした。



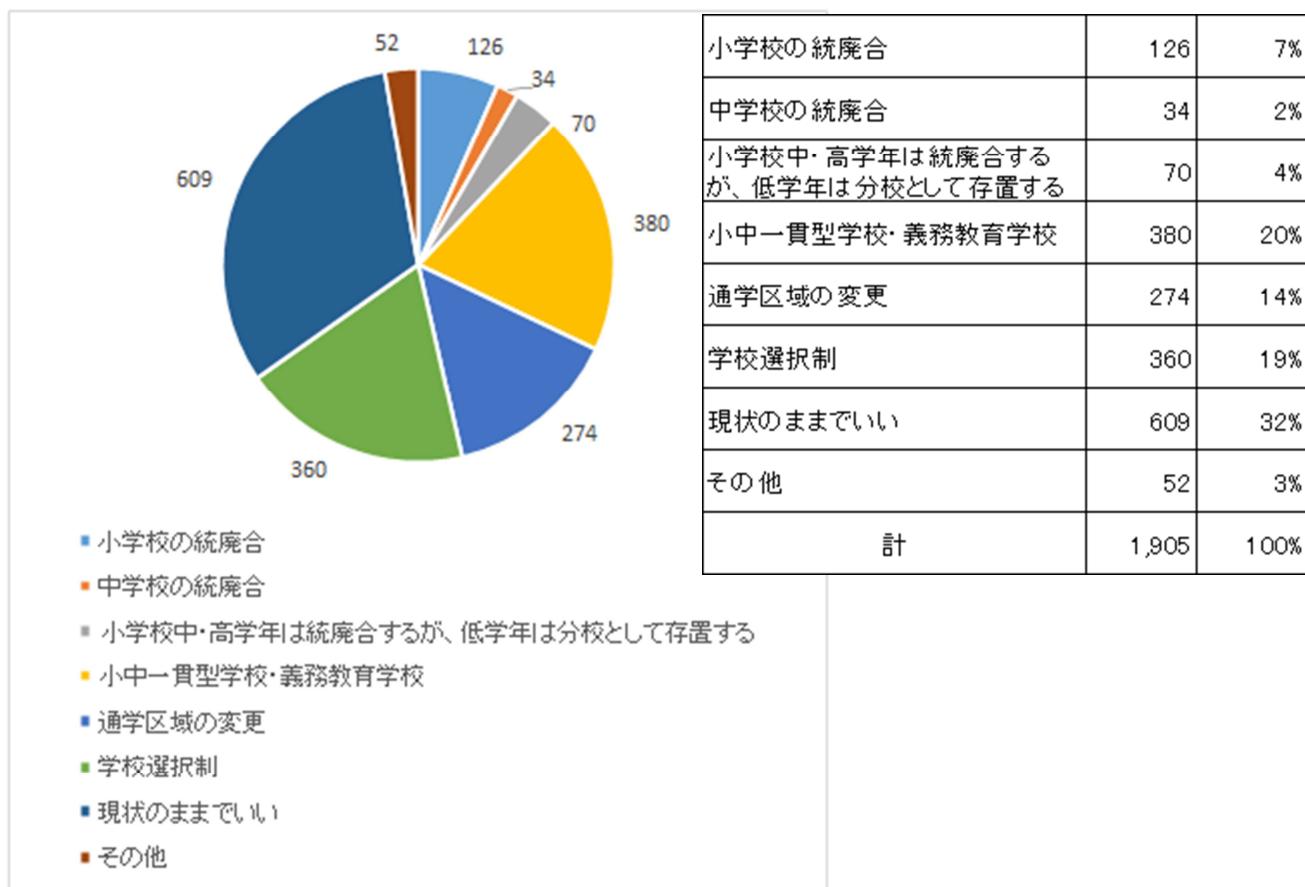
【園・小学校・中学校別】



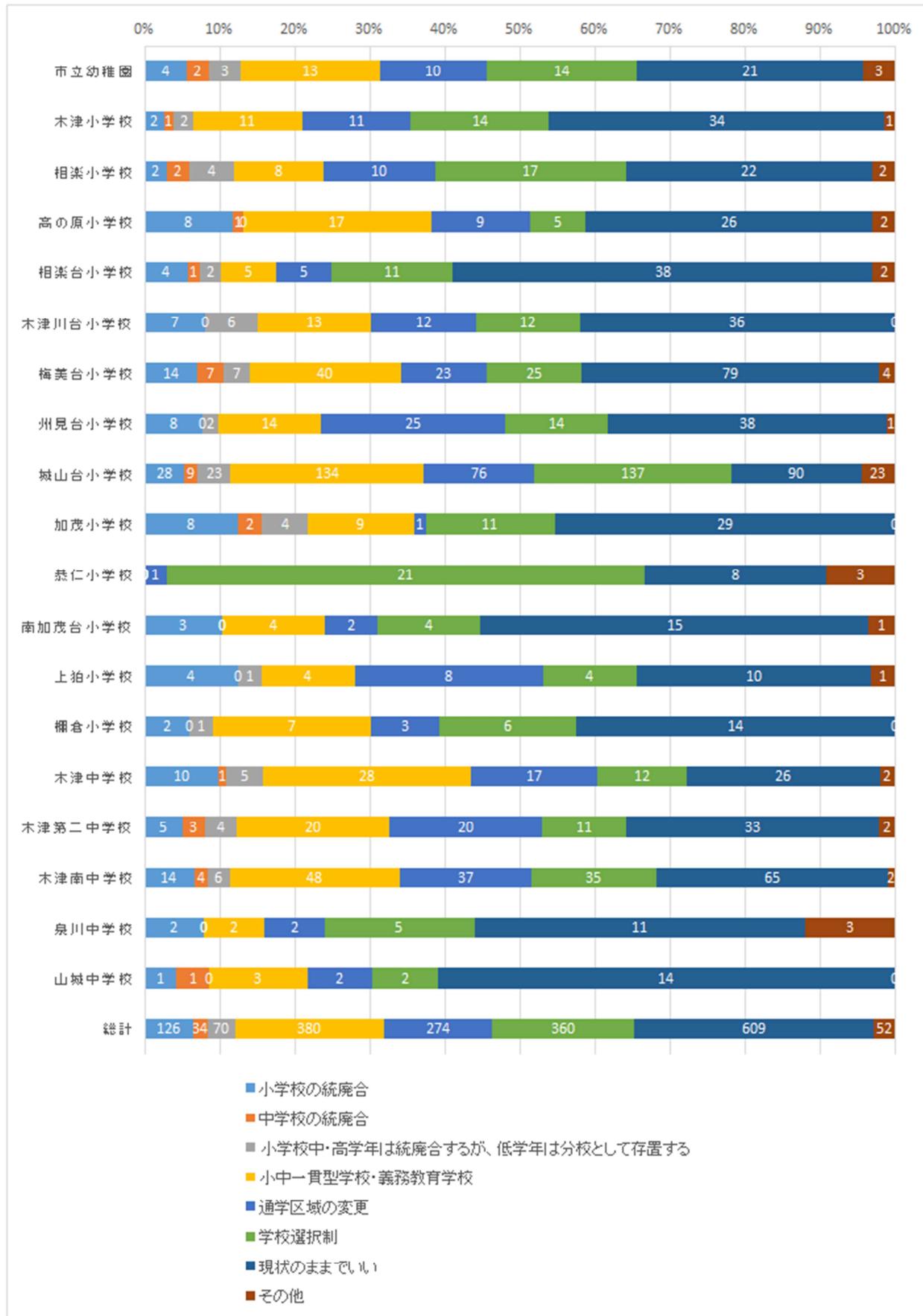
問5－1（学校の規模確保について）

配布している資料にもあるとおり、今後市全体では、児童生徒数の減少が見込まれます。義務教育9年間を通じ、児童生徒一人ひとりの能力・適性等を最大限に伸ばせる学校の規模・配置について、望ましいと考えることを1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「現状のままでいい（32%）」で、約20%が「小中一貫型学校・義務教育学校（20%）」「学校選択制（19%）」となっています。



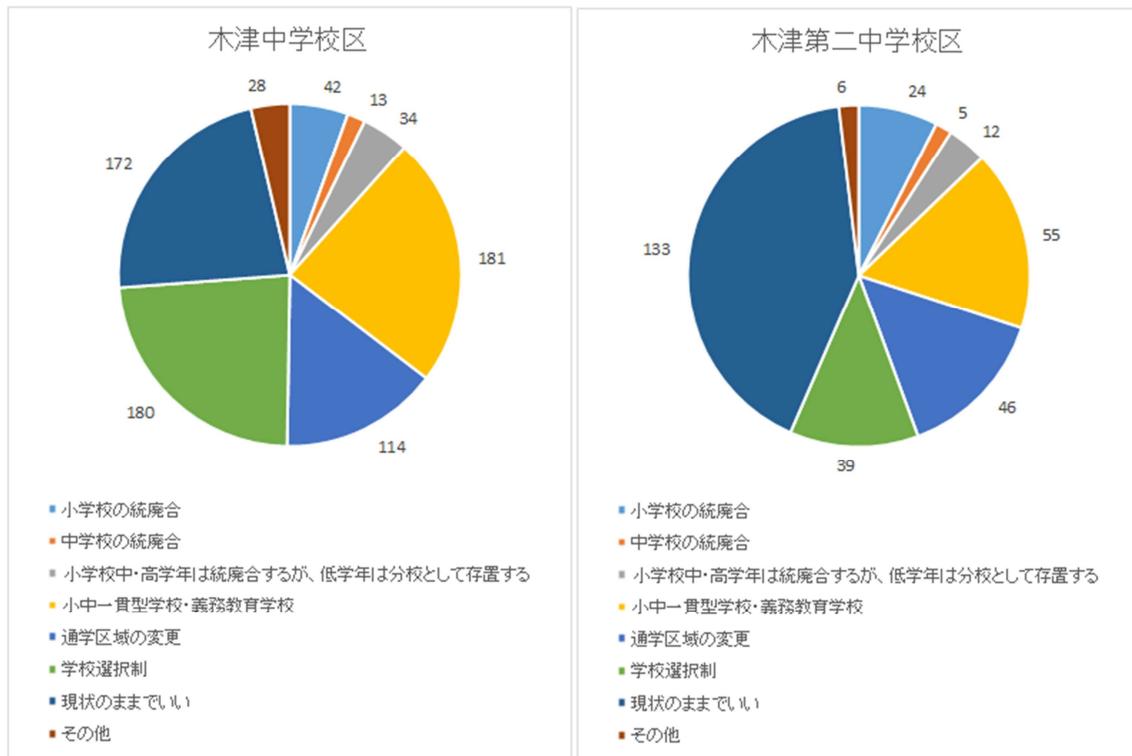
【園・小学校・中学校別】

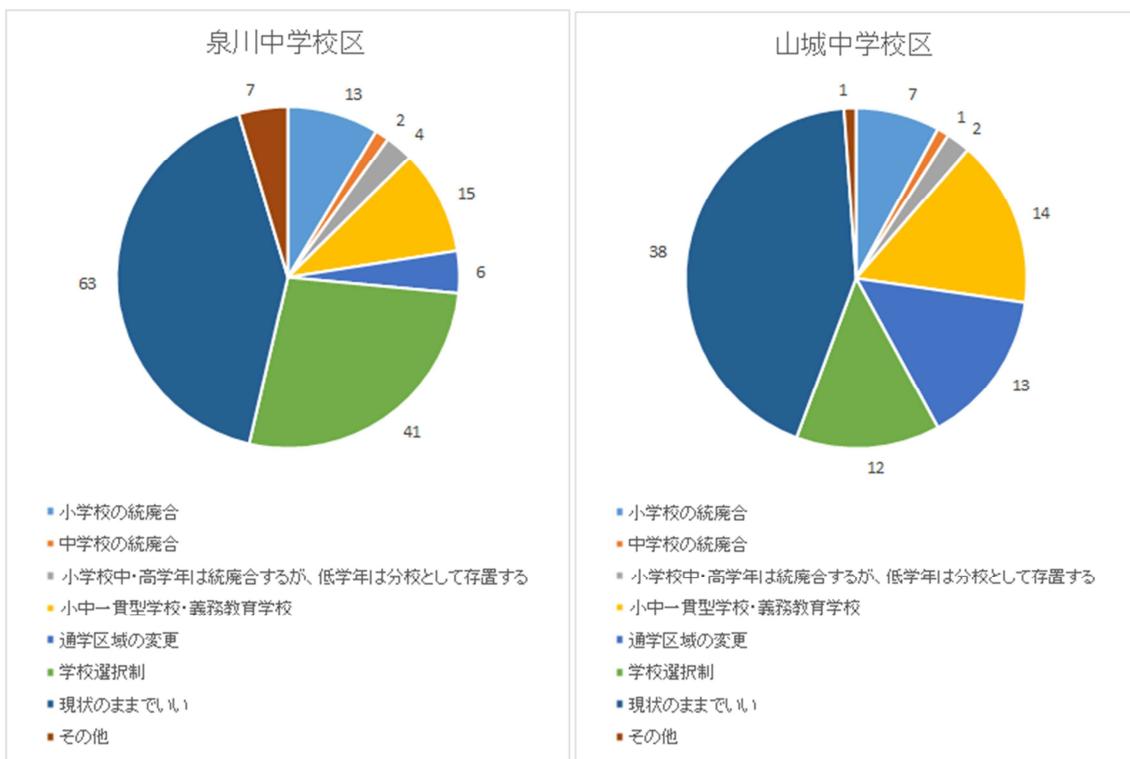


【中学校区別】

※城山台小学校は木津中学校区に含まれています。

※市立幼稚園は園児の校区が不明のため含まれていません。





(自由記載)

- わからない
- 地域密着型で、地域外の生徒は通ってきてほしくない。城山台からきて増えるのが嫌です。
- わかりません
- 学校に差があつていいと思う。多数の中で揉まれるか、少数でじっくりと人間関係を築いていくのか、子供に合わせて学校を選択したらいいと思う。学校の選択もいつも受け入れ可能にすれば、登校拒否の子供の環境を変えてやることもできると思う。
- 校区外から子どもが、これるようにして欲しい。
- 居住地域の実状に合わせた規模の古い校舎の建て替え、学習支援、活動施設等を併設し、子どもたちの教育活動を充実向上させて欲しい。
- わからない
- 小学校高学年は統廃合、低学年、中学年は分校として。
- 適正規模校をその都度準備する。
- 統廃合には反対です。もっと予算を付けて少人数学級を実現すべきだと思います。
- スクールバスを出すなどして人口の多いマンモス校になっている地域から児童の少ない地域に分散させが必要。スクールバスがあれば城山台から恭仁小学校へ入学も考えた。
- スクールバスを利用し、人数の少ない学校に分散させる
- スクールバスを利用し、人数の少ない学校に分散させる
- 減少している地域では統廃合、城山台のように急増している地域では増設し分け、1校あたりの生徒数を適正にすべき
- 中学校を増やしてほしい。城山台小学校からは遠すぎる。
- 城山台に中学校が必要

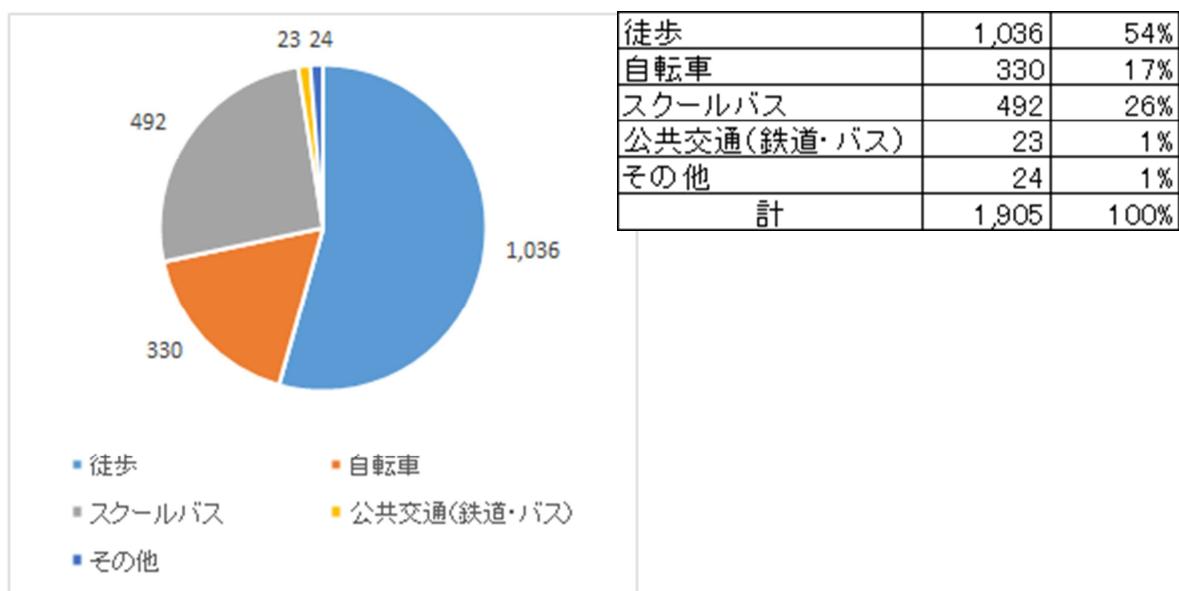
- 過疎化レベルに減らなければ現状のままでもよいが、統廃合レベルになった時は通学地区の変更や、希望により学校選択制などを取り入れるのは良いと思う。急増加時の対応のようにすでに決まってからの報告ではなく、学校の規模変更が見込まれる数年前には、直接関わる年代（～それ以降の保護者も含む）の保護者を中心に話し合いで決められる場を持てた方が良いのではと思う。
- 学校を増やす
- 何が適正か判断が難しい
- 新しく中学校を設けるべき。城山台地区の人数増加で、中学校があふれている。2校に分けたところで、解決にはなっていない。2校に分けても1学年の学級数が多すぎる。
- 城山台小学校は一時的にでも分校を作るべき。
- 生徒数が増加傾向にあるため、もっと分散させるか、もう一校増やすしてほしい。
- わかりません
- 選択制にすると地域委員やクラス委員、PTAの決め方がもめる。統廃合や選択制をするならPTAの廃止も検討したほうがよい。
- それぞれの環境で全ての検討が必要。一つで答えられません
- わからない
- 子どもの能力が伸びるかは学校規模とは関係ない。それ以上に置かれた環境でどう教育するかによると思う。
- どの選択肢もよいと思えないが、代案も思い付かない
- 城山台周辺に一つ中学校を作って欲しい
- スクールバスで巡回などして児童、生徒が多い地域から分散させるのがいいのでは
- 今はわからない
- もう一つ小学校をつくってほしい。
- 児童数が多い地域は学校を配置して、少ない地域は統廃合する。
- UR誘致
- 高学年の統廃合
- 人数の多いところは、学校選択、通学区域を変更したらいいと思います。
- 人口数に応じた学校の移設および統廃合。例えば城山台13丁目の学区を州見台にするなどの柔軟な対応。
- 7つの選択肢からは選びきれません。なぜなら、木津川市の抱えている問題の答えには当てはまらないから。
- 上記一つだけを今の情報だけで選択するのは無理です。望ましいと考える根拠のために、統廃合のドラフト案や、スクールバスでの通学時間と時間割案(二学年ごと)をもう少し知りたいです。
- 徒歩圏内に今の小学校と中学校しかないので、選択肢がない。さらに範囲を広げると通学ができないので、現状しか選べない。スクールバス等があれば、将来的に他の地域でも可能かと思う。
- 分からない
- 恭仁小は残した上で、恭仁小を選択できるようにしてほしい。
- 城山台地域では爆発的に人数が増えており、一概に答えられない
- 現状のまま、恭仁小は残してほしい。それに、伴い、城山台など大規模校からだけでなく、他地域の学校も学校選択制を取り入れた方がいい。
- ひとつの答えに限定するのではなく、地域によって臨機応変な対応を望みます。
- 中学が遠すぎる。安全安心な徒歩圏内に新設希望。
- 画一的な結論を出すのではなく住民や地域の事情を汲んでほしい

- 分からない。
- 義務教育の間は、地域のなかで育つのが良いと思います。また重い鞄を背負って遠い学校まで通うのは子どもの負担が大きいと思います。時間ももったいない。学校での学びが色々な参加の仕方に広がればまた違ってくるのかなあと思います。
- 地域と学校は切り離して考えるべきではないと思うので、それぞれの地域で目指したい学校のビジョンを考え、それに沿う形で検討するべきだと思う

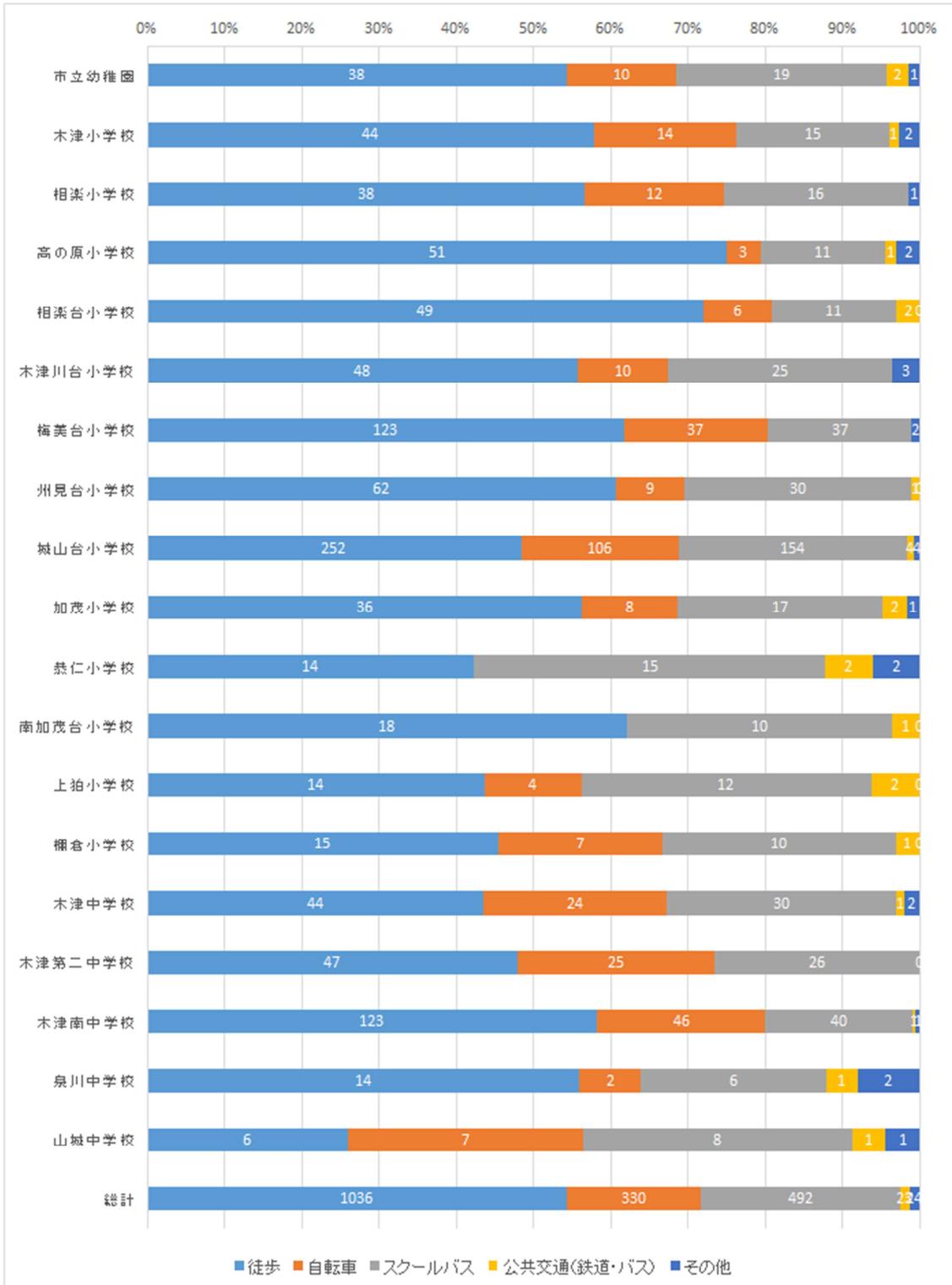
問5－2（学校の規模確保について）

問5－1で選択された学校配置において、主要な通学手段として考えられるものを1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「徒歩（54%）」で、次に「スクールバス（26%）」「自転車（17%）」となっています。



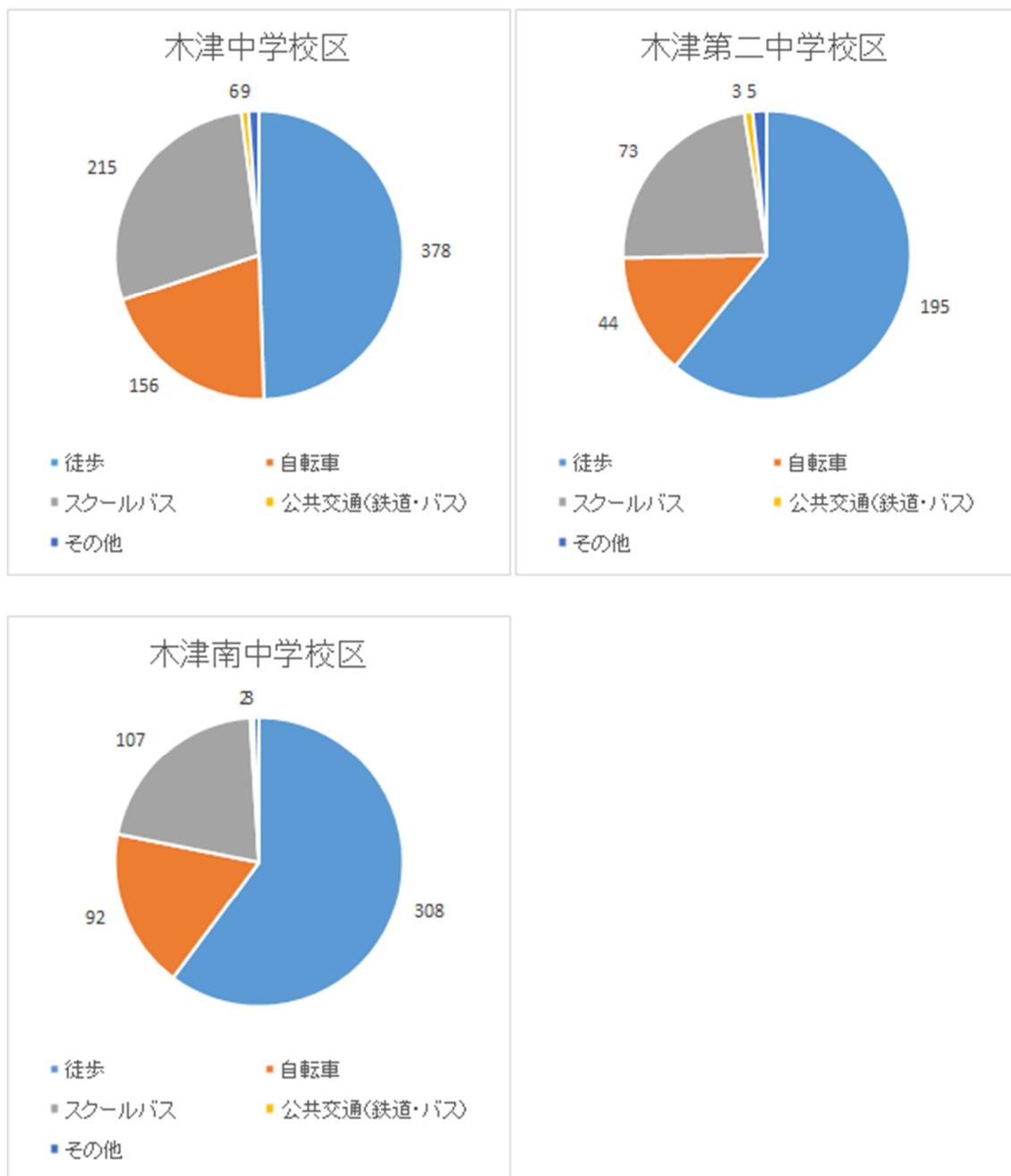
【園・小学校・中学校別】

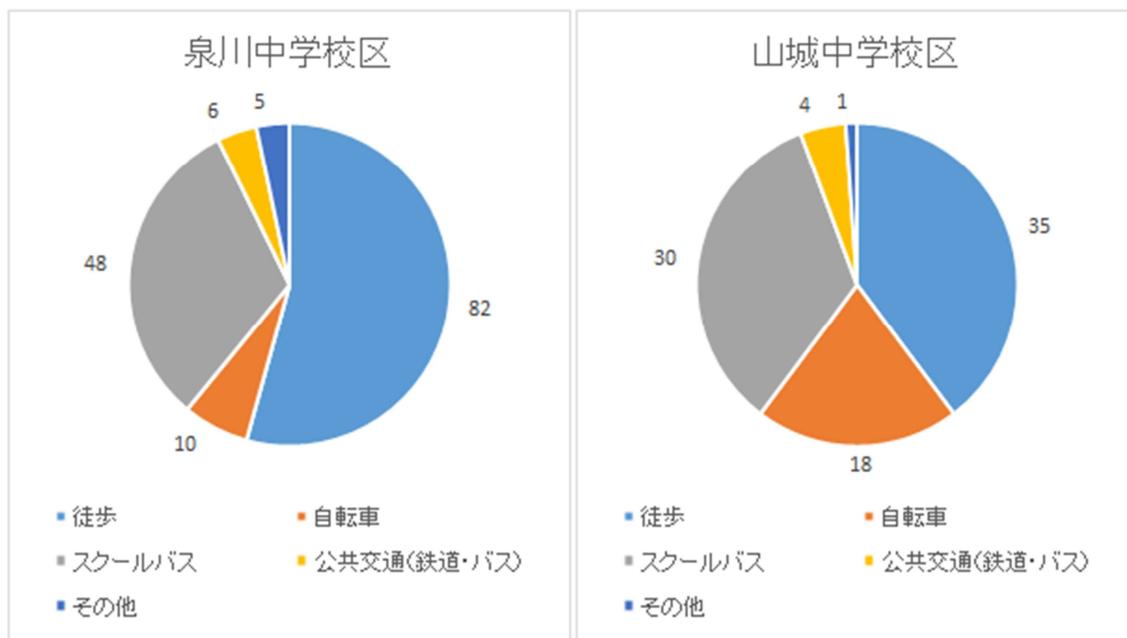


【中学校区別】

※城山台小学校は木津中学校区に含まれています。

※市立幼稚園は園児の校区が不明のため含まれていません。





(自由記載)

- わかりません
- 距離による
- 家庭判断 徒歩が困難ならば送迎など検討すれば良い
- 自家用車
- 自家用車での送迎
- 距離に応じて徒歩、自転車、スクールバス
- 必要に応じて自送、公共交通、徒歩、自転車など
- 親の送り迎え
- 小学校は徒歩、中学校は徒歩か自転車
- 小学校は徒歩、中学校は徒歩か自転車。
- 全てを総合的に活用。
- 小学校は徒歩、中学校は荷物が多いので自転車。
- 小学生はスクールバス 中学生は自転車
- 臨機応変
- 城山台地域から木津中学へ自転車通学が増える中、安全対策が必要であり、一概に答えられない
- 城山台小のために、既にスクールバスが購入されているようなので、そのバスを朝夕、スクールバスとして、恭仁小に来たい方のために、使ってほしい。
- 前の設問で「臨機応変に」と記しました。通学手段についても、臨機応変に、徒歩や自転車を基本とし、スクールバスの使用も視野に入れるような対応を望みます。
- 分からない。
- 1つ選んで下さいの意味がわからないです
- 自由
- 全ての選択肢があって良いと思う
- 地域によって危険箇所が違うので、学校ごとに考えるべき

問5－1（学校の規模確保について）

問5－2（学校の規模確保について）

問5－1と問5－2を学校別にクロス集計しています。

全体

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままいい	その他	計
徒歩	54	8	41	197	116	102	491	27	1036
自転車	17	21	10	64	57	75	82	4	330
スクールバス	52	5	18	112	97	163	32	13	492
公共交通(鉄道・バス)	2	0	1	4	1	15	0	0	23
その他	1	0	0	3	3	5	4	8	24
計	126	34	70	380	274	360	609	52	1905

幼稚園、小・中学校別

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままいい	その他	計
市立幼稚園	4	2	3	13	10	14	21	3	70
徒歩	1	2	2	6	6	3	17	1	38
自転車	2	0	0	2	0	3	3	0	10
スクールバス	1	0	0	5	4	7	1	1	19
公共交通(鉄道・バス)	0	0	1	0	0	1	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままいい	その他	計
木津小学校	2	1	2	11	11	14	34	1	76
徒歩	1	0	1	6	5	3	28	0	44
自転車	0	1	0	4	4	1	4	0	14
スクールバス	1	0	1	0	2	9	2	0	15
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	2

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままいい	その他	計
相楽小学校	2	2	4	8	10	17	22	2	67
徒歩	0	1	4	2	3	6	21	1	38
自転車	0	1	0	2	5	4	0	0	12
スクールバス	2	0	0	4	2	7	1	0	16
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままいい	その他	計
高の原小学校	8	1	0	17	9	5	26	2	68
徒歩	4	0	0	12	6	2	25	2	51
自転車	0	1	0	1	0	1	0	0	3
スクールバス	4	0	0	3	2	1	1	0	11
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	1	1	0	0	0	2

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
相楽台小学校	4	1	2	5	5	11	38	2	68
徒歩	3	1	2	3	0	5	34	1	49
自転車	0	0	0	1	0	1	4	0	6
スクールバス	1	0	0	1	5	3	0	1	11
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	2	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
木津川台小学校	7	0	6	13	12	12	36	0	86
徒歩	3	0	3	7	4	3	28	0	48
自転車	0	0	1	2	2	0	5	0	10
スクールバス	3	0	2	4	5	8	3	0	25
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	1	1	0	0	3

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
梅美台小学校	14	7	7	40	23	25	79	4	199
徒歩	6	0	6	22	10	8	68	3	123
自転車	3	6	0	8	6	6	8	0	37
スクールバス	5	1	1	9	6	11	3	1	37
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	1	0	0	0	2

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
州見台小学校	8	0	2	14	25	14	38	1	102
徒歩	3	0	1	6	12	4	35	1	62
自転車	1	0	0	2	3	1	2	0	9
スクールバス	4	0	1	6	10	8	1	0	30
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
城山台小学校	28	9	23	134	76	137	90	23	520
徒歩	17	2	17	70	37	38	62	9	252
自転車	4	5	1	22	11	38	21	4	106
スクールバス	7	2	5	42	27	56	7	8	154
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	1	3	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	2	0	2	4

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
加茂小学校	8	2	4	9	1	11	29	0	64
徒歩	3	0	1	3	0	2	27	0	36
自転車	2	2	1	1	0	1	1	0	8
スクールバス	3	0	2	3	1	8	0	0	17
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
恭仁小学校	0	0	0	0	1	21	8	3	33
徒歩	0	0	0	0	1	4	7	2	14
自転車	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スクールバス	0	0	0	0	0	14	1	0	15
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	2	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	2

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
南加茂台小学校	3	0	0	4	2	4	15	1	29
徒歩	1	0	0	2	0	1	14	0	18
自転車	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スクールバス	2	0	0	2	2	2	1	1	10
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
上狹小学校	4	0	1	4	8	4	10	1	32
徒歩	2	0	0	0	2	0	9	1	14
自転車	0	0	1	1	1	0	1	0	4
スクールバス	2	0	0	2	5	3	0	0	12
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	1	0	1	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
棚倉小学校	2	0	1	7	3	6	14	0	33
徒歩	0	0	1	3	1	2	8	0	15
自転車	0	0	0	1	0	3	3	0	7
スクールバス	1	0	0	3	2	1	3	0	10
公共交通(鉄道・バス)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
木津中学校	10	1	5	28	17	12	26	2	101
徒歩	4	0	1	13	7	2	17	0	44
自転車	1	1	2	3	5	5	7	0	24
スクールバス	4	0	2	11	5	5	2	1	30
公共交通(鉄道・バス)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	2

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
木津第二中学校	5	3	4	20	20	11	33	2	98
徒歩	1	0	2	10	7	3	22	2	47
自転車	1	2	0	3	6	3	10	0	25
スクールバス	3	1	2	7	7	5	1	0	26
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

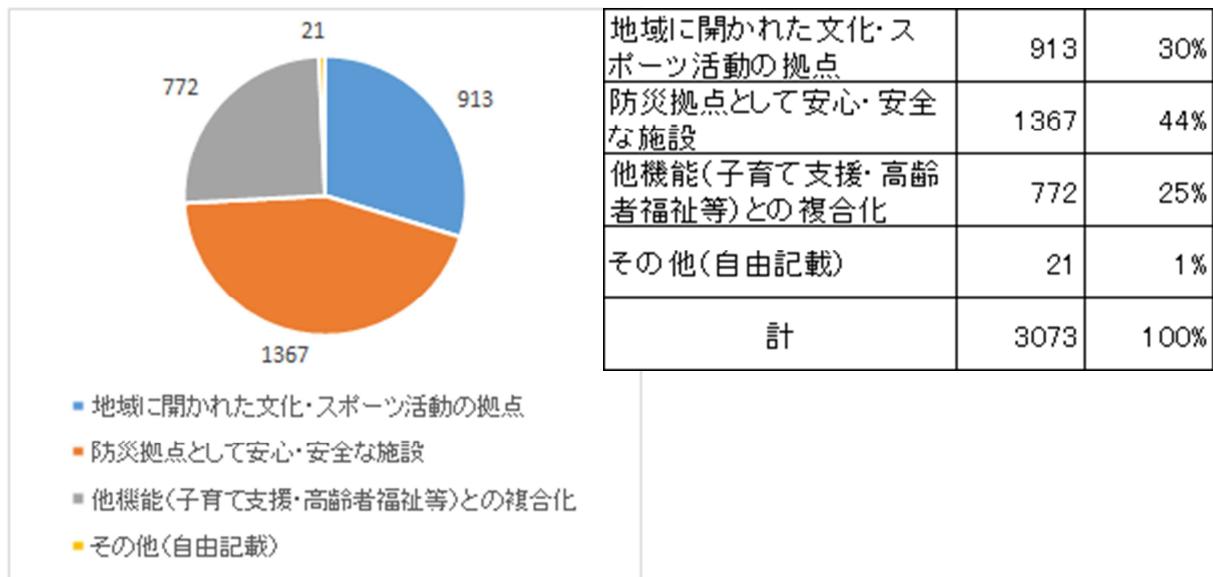
	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
木津南中学校	14	4	6	48	37	35	65	2	211
徒歩	5	2	0	29	14	16	55	2	123
自転車	2	1	4	11	13	8	7	0	46
スクールバス	7	1	2	8	10	10	2	0	40
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1

	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
泉川中学校	2	0	0	2	2	5	11	3	25
徒歩	0	0	0	2	1	0	9	2	14
自転車	1	0	0	0	0	0	1	0	2
スクールバス	1	0	0	0	1	4	0	0	6
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	2

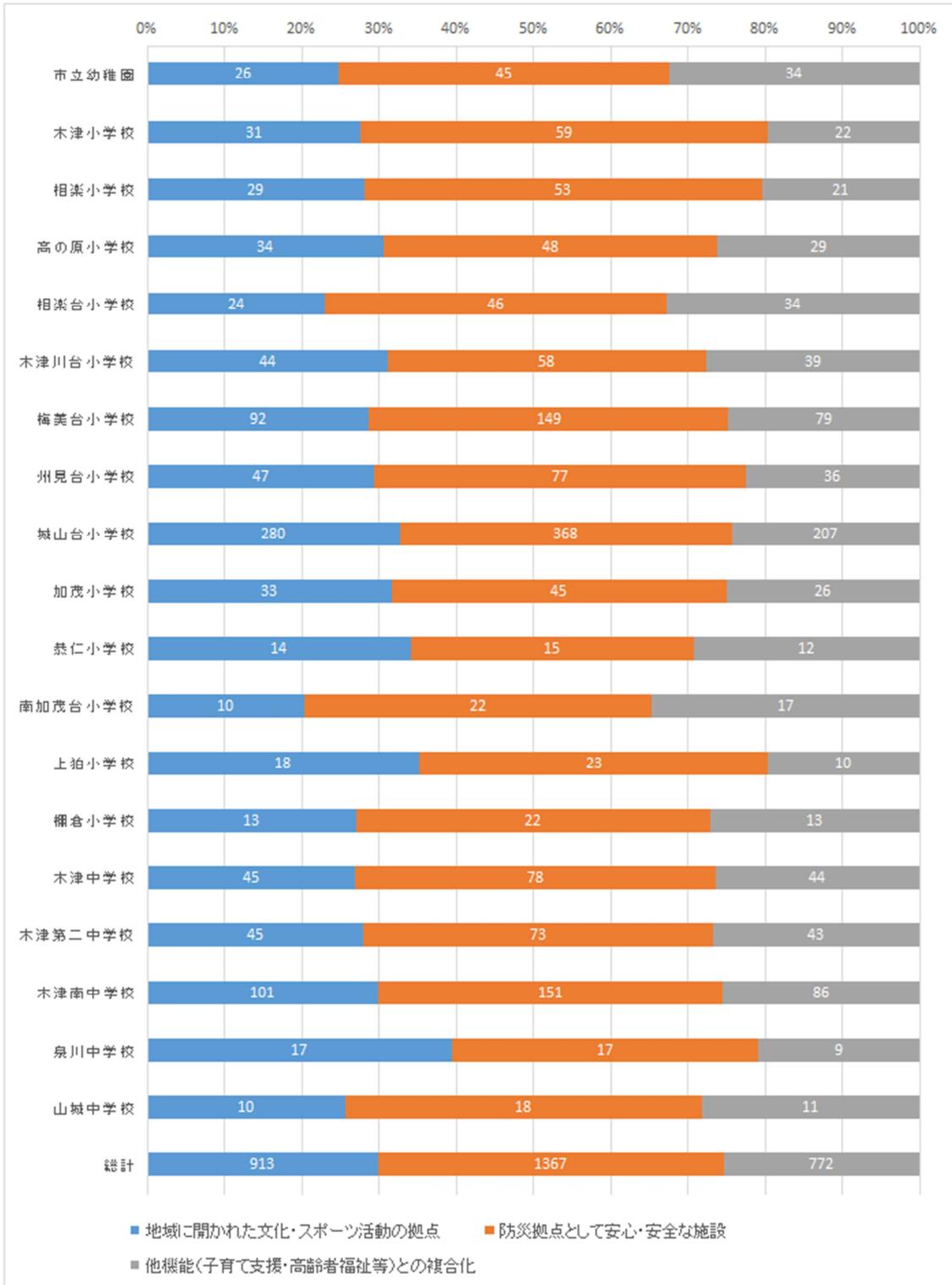
	小学校の統廃合	中学校の統廃合	小学校中・高学年は統廃合するが、低学年は分校として存置する	小中一貫型学校・義務教育学校	通学区域の変更	学校選択制	現状のままでいい	その他	計
山城中学校	1	1	0	3	2	2	14	0	23
徒歩	0	0	0	1	0	0	5	0	6
自転車	0	1	0	0	1	0	5	0	7
スクールバス	1	0	0	2	1	1	3	0	8
公共交通(鉄道・バス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1

問6 将来的な地域における学校の役割について

市立小中学校は、地域コミュニティの中核としての役割があります。今後に期待する役割・機能について、あなたの考えに近いものを2つ選択してください。



【「その他」以外の園・小学校・中学校別】



(自由記載)

- 他は望まない
- 地域の子供が、地域の小学校で勉強する場所
- 地域の小学校で勉強する
- 塾などいかなくとも大学入学を目指せる勉強習慣を公立小学校をめざすべきです
- 図書館と一体化
- 特に無し
- そこまでやる必要はないと思います
- 現状をみれば学校はコミュニティの中核になっていない。こういった現状で期待するものはない。
- 放課後の児童の遊び場、勉強の場としての活用。例として運動場、図書館。
- 選択肢全て
- 特になし。
- 特に何も求めない
- 特にない
- 国際
- 恭仁小は、歴史を学ぶだけでなく、自然をそのまま感じられる特色があります。地域の方たちも、小学校に通う子供たちのため、恭仁の自然をまもるために、活動されています。繋がりがとても深いので、げんざいのまま、学校を存続させ、廃れることのない環境であってほしいです。
- 地域の学び場所、老若男女問わない
- 小中学校は地域コミュニティの中核であるから、小中学校として存することが望ましい。ニュータウン以外の人口増を検討してほしい。
- 小中学校が地域活性の要です。
- 子どもの学びの助けになるという意味での地域に開かれた学校だと理解しています。子どもの成長を地域で見守り取り残される子がないように、たくさんの温かい手が学校に集まるような場になってほしいと思います。
- 小学校がない地域には子育て世代は住まない。学校がなくなることは、地域の死を意味する。地域社会が存続するための極めて重要な基本的な機関である。
- 親・子供・孫が安心して登校できる学校。

問7

その他意見があればご記入ください。(最大 100 文字程度)

336件 学校別集計

木津幼稚園	11件	相楽幼稚園	5件	高の原幼稚園	8件
木津小学校	16件	相楽小学校	9件	高の原小学校	12件
相楽台小学校	12件	木津川台小学校	8件	梅美台小学校	27件
州見台小学校	19件	城山台小学校	90件		
加茂小学校	12件	恭仁小学校	21件	南加茂台小学校	11件
上狛小学校	6件	棚倉小学校	9件		
木津中学校	12件	木津第二中学校	18件	木津南中学校	20件
泉川中学校	6件	山城中学校	4件		

木津幼稚園（11件）

- 私の育った街と木津川市が抱える問題が同じです。実際私が育った小学校はクラス数も児童数も減り存続するかずっと話し合われています。木津川市の小学校でも同じことが起きるのはとても寂しく思いますが、今のうちに子どもが減った時に学校運営をどうしていくのか方針を決めて住民にもある程度周知している方が混乱しなくていいと思います。学校運営するのに場所や教職員確保するのはとても大変なことなのは誰にでも分かることだと思うので早めに色々なことを考えて話を進めていくのはとても大切なことだと思います。私の地元では急に湧いてきたかのように統廃合の話になり大変でした。学校選択するのも1つのだし
- 私学と同程度の教育を求める。その際教師の負担を増やすのではなく、不要な会議や報告書や活動などのペーパーレス化や廃止により負担分をイーブンにすべきだ。
- 児童、生徒はもちろん、家庭全体として、誰もが選択しやすく、通学しやすく、活動しやすい学校の在り方となりますように。
- 小学校の選択ができるますが、現状、校区外の小学校に行くには、車での送迎がいります。6年間、保護者が毎日送迎できると思いますか？スクールバスを出さないと、小学校の選択の意味は全くありません。
- 小中学校ではないので申し訳ないですが、公立の幼稚園施設に関しても改善を望みます。駐車場がなかったり、駐車場が遠い上に通園路にするには危険な道だったり、通園しにくい。徒步通園の範囲も実際に徒步で通うには厳しい範囲も含まれます。バス登園の範囲拡大し、選択性にしてほしい。小中学校においても、臨機応変な対応をお願いしたい。
- 城山台から木津中学校までの自転車通学が危険なので、電車通学を認めてください。
- 城山台小学校の生徒数が多すぎて教育が行き届くのか不安。教員数や補助の人を増やしてほしいです。木津中学校の通学路が安全だと思えない。工事して安全な通学路にするか電車通学の手段も増やしてほしいです。
- 城山台小学校をはじめて見た時(約7年前)、これから1,500人は越えてくるだろう学校なのに敷地が小さ過ぎないか？と思いました。自身の母校と比べても、中庭と言われるような敷地が無いように思いました。すでにセメント加工されている部分ばかりだなと思い、この校舎・体育館・運動場で大丈夫かな？運動場は絶対に狭いと思いました。私の母校は中庭にプレハブ校舎がいくつか建ち、最後的に運動場にプレハブ2教室分だったかを建てるどうかが問題となり、結局建ってはいなかつたんじゃないかなと思いました。当時小学生だった私はプレハブの2階が80人以上を乗せるので耐久性の不安が気になったりトイレはどこを使うのかを考えるくらいでした。しかし運動場に建つという話が出た時はさすがに子どもどうしで話題になり、建設位置についても上下水道が無ければ本校舎にまで行かなければならぬ、それなら授業の間の休み時間は15分くら

いは欲しい、移動教室の場合下靴や上靴の履き替えはどうするのかなど友達同士で想像して話し、この時ばかりは反対意見の子どもが多かったです。たぶんその後、運動場の手前に建ったプレハブがあったと思うので運動場の敷地に建つという案は回避したのではないかと思います。しかし、プレハブが建つ以前から運動場の広さは守られ全員が外に出ないにしても運動場に人数が増える分一人あたりの使用分は変わってきます。別のグループとぶつかったり場所の取り合いもありました。実際私も運動場の使用人数が多いなと思い始めた3年生頃に5年生の男の子とぶつかる経験をして運動場で遊ぶことはほとんど無くなりました。その代わり外で遊ぶ時は中庭で遊ぶことが多く、プレハブ校舎が建ちはじめても敷地はあったので6年生頃は中庭でゴム飛びを女の子5～6人でしていました。私の小学校中学校も城山台と同じような平城ニュータウンで親も若く子どもが多い町になりました。城山台小学校も有効に使える中庭があるほど敷地規模だったらこの10年ほどをしのぎやすかったかも…と思います。

- 通学する児童が多い事、中学校までの距離が遠く、また徒歩通学の予定の為スクールバス及び公共バスの新規ルートの検討をお願いしたいです。
- 通学時ですが、交通量が多い国道等の横断に対する安全の確保をお願いします。
- 統廃合は反対である。私も同窓生だが、他の同窓生にも意見を取るべきだ！

相楽幼稚園（5件）

- アンケート内容とは異なりますが、以前から気になる事があります。相楽幼稚園に現在通っており今年から相楽小学校へ入学ですが放課後駐車場で遊ぶ小学生が多数いるとの小学校幼稚園前の道路を平気で車が来ても横断する姿が多数見られ不安を感じます。
- ハード面だけでなくソフト面(教員の質等)もお願いします
- 金融教育を導入してほしい
- 小学校区のまとめは大事だと思います。
- 通学距離については子供達に強制する以上、それらを定めた教育機関を含む大人もその規定に従い通勤するべきだと考えます。

高の原幼稚園（8件）

- ニュータウンに居住している者は、ニュータウンの幼稚園や学校に通いたく、高い都市計画税にも耐えています。幼稚園、この意見を学校再編の際の判断基準とすべし。
- 一時的に児童数が増えてしまう期間の中学校の対策について聞きたいです。
- 仮に統廃合するのであれば、通学バスの利用や公共交通機関を使用するなら無償で乗車出来る等、通学アクセスは維持してほしい。
- 現状の城山台地域から木津中学校、木津南中学校への自転車通学は距離もあり、事故にならないか心配です。

- 将来的に児童生徒数が減る見込みだからといって、城山台小学校の生徒数急増の問題が置き去りにならないよう、しっかりと取り組んでいただきたい。分校を設置した上で将来的にはその分校を小中一貫校とするべき。
- 小学校の定員オーバーが見て取れる。学校選択制にしたくても6年間行き帰り送り迎え必須となれば選択制の意味がないのでは？なぜ城山台小学校がマンモス化になる理由を考えるべきではないか。泣く泣く通わせる家庭は少なくともあります。木津市役所にこどもたから課とあるが疑問に思う。
- 制度を改定することに意味は無いと思う。体制だけ変えて、現場の職員が従来のルールに対して保守的過ぎて、時代においてニーズに追いついていないと感じる。教育に携わる者の事なれ主義な考え方から改めるよう、研修等を充実させてから制度を改定していただきたい。事なれ主義を
- 通学徒歩に30分以上かかる時は自転車通学も希望できるようにしてほしいです。

木津小学校（16件）

- なし
- もうすぐ卒業なのであまり現実的に考えられないかもしれません。
- ランドセルが重いがランドセルが主流の風潮がある。ランリュックの考えても取り入れてもいいのではないかと思う。
- 一学級の人数が今では多すぎるとと思う、職員、教員の人数が少なく、負担が大きいと思います
- 一部の小中学校だけが生徒数が多くなるのが予想されてるので生徒数分散の為にも各小中学校にそれぞれ特色を持たせて そこに魅力を感じる保護者や生徒が通学できる様に学校選択ができる様になるといい。
- 家庭科の調理実習を宿題としていることに疑問がある。母子父子家庭の存在、貧困、コロナ禍にあって食費もままならない家庭もあるというのに、そのような様々な家庭事情に配慮なく、それを成績の基本とすることに、配慮がないと感じる。
- 教員の質の底上げが必要不可欠
- 子供や保護者が気軽に相談できたり、高齢者施設の入所者さんと生徒との関わりが持てればお互い相乗効果が生まれると思う。
- 集団登校は密を避けることを考えるとやらない方が良いと思う。制帽は費用がかかるので必要ないと思う。又はサイズ調整のできる物にしていただきたい。
- 小学校は、毎年クラス替えがあるが2年おきで良いのでは？一年おきにクラスが変わり先生も変わっていては、環境の変化に対応出来ない子供もいると思うので、2年間でクラスのお友達としっかりと関わるようにした方が、毎年4月になって不安で登校しづらくなる子供も気持ち的に少し楽になるのでは？
- 城山台の児童数が増えています。住宅を建てる時に子供の数を想定し、学校の事を

考えなければならなかったのではないか。教室も足りないので運動場を小さくしての活動は困ると思います。小学校を選択できるようにしますが親が送迎するのは無理です。対策を考えて欲しいと思います。

- 生徒減少しても、教育の質が落ちないようにして欲しいし、先生の負担も減らして手厚く生徒を見て欲しい。
- 中学生の毎日の荷物が重すぎる。徒歩で25分ほどで重いと大変だと思う
- 特にありません。
- 南海トラフ地震、水害、最近では他国への侵略行為など色々な不安がある。幅広く対応できるような施設でもあって欲しい。
- 木津駅付近は、スーパーが多いので、子供が学べる施設や遊べる場を作つて活気溢れる町にして欲しいです！

相楽小学校（9件）

- PTAをなくして欲しいです。
- PTA廃止
- いじめ問題があればすぐに対応できる用にしてほしい。子供達の意見がすぐに聞ける環境。リモート授業の充実。子供達が先生に何でも話せる信頼関係。子供達が行きなくなる学校。
- ひとクラスの人数を減らしてほしい。
- 子どもの安全を考えるなら徒歩圏内、統廃合するのであればスクールバスが必要であると思います。
- 城山台はバスで山城中に通えば良いと思う。木津中がずっと受け入れることに疑問がある。
- 先生方が子どもたちと余裕をもって関わってほしい。学習面も大切であるが、子どもたち同士や先生と子どもの心が通い合う教育現場であつてほしい。
- 地域の小学校と、支援学校と一緒に学び育つ事ができれば良いなと思います。
- 中学生の自転車と徒歩での横並びの通学をどうにかしてほしい。

高の原小学校（12件）

- 20年後極端に減るのは梅美州見城山。減るのに城山は選択制あれど規模拡大中。他校7割はほぼ横ばい。校舎ボロボロ。一貫教育が流れの中、検討してる間に20年経つのは。
- このアンケートでは今後の在り方を集計して、保護者の理解の傾向はわからないと思います。市内全体としては減少することに対して何か手厚い対策してくれるのでしょうか。自分の子には何も恩恵あるものはないと思います。今や木津川市公立の学校に求めるものはありません。義務教育だから通わせています。公立の学力やその他の教育で

あまり期待しているものはありません。昭和のままの内容だなと感じてしまいます。日本の義務教育の内容だからしようとしない。世帯年収がもっと高いところだったら、いい教育受けさせてあげたかったなあと思っています。

○ どの道子供は減っていくのだから教師の数をそのままにし、手厚い指導で良い人材を育てる方が将来的に良い。

○ 高の原小学校に通わせています。近隣の小学校と比べると校舎が古すぎると思います。少しずつでも改築して欲しい。給食が質素すぎる。せてもう一品おかずを増やすなどして欲しい。ごはんと牛乳の組み合わせもどうかと思う。子供が楽しみに思う給食してほしい。現状のままであれば負担にはなるが毎日お弁当を持たせる方がいい。

○ 今ある建物を壊して、新しいものを作る必要はない。財政のこと（利権？）ばかり考えて、子供たちにこれ以上皺寄せをしないでほしい。

○ 今学んでいる子ども達に不自由な思いをさせないよう、適正規模校の準備、建物に囚われない学習環境を求める。個人に皺寄せが行くのをよしとはせずに、皆が納得できるような学習の場を木津川市には求めます。子どもたちは私たちの宝だと思うので、不自由を強いるような事だけはしないでいただきたいです。

○ 主に城山台地区だけが大きく増減してるだけのように思います。

○ 小規模校には小規模校の良さがある。統廃合により、通学が遠くなったりすることは好ましくない。小学校で4キロまで良いというのは、遠すぎる。

○ 少子高齢化を生かした教育政策を考えてほしい。地域の様々な人が集え、人生で培った経験能力を循環させる地域環境をつくってほしい。それが地域活性化につながる。

○ 中学受験を考えるかもしれない、小中一貫になるとしても、連続したカリキュラムではなく、6年生で一区切りをつけてほしい。制服やその他指定品も、一年生から一貫させるか、6年と7年の間で切り替えてほしい。

○ 日本の教育は、みんな一緒にでなければならぬ風潮がとても強いように感じます。もっと個人の能力が發揮出来るカリキュラムの形成や学校単位での決定権を持たせるべきだと思います。担任の先生や校長先生に意見をしても、最後は教育委員会が決めます。もっと現場レベルでの意見を柔軟に聞く必要があります。例えば、小学校の英語の授業はレベル分けをして欲しいです。

○ 梅美台・城山台小学校は急激な児童数増加で「学童教室が足りない」だのなんだの言ってるようですが、そもそも街づくりの計画がずさんだった結果なのだと思います。

相楽台小学校（12件）

○ 学校の規模適正化は喫緊の課題ですが、保護者や地域にしっかりと傾聴しながら丁寧な取組をされる事を望みます。

○ 学年が上がるごとにクラス替えがあるので、子供も親も、せっかく慣れてきた頃にしんどい。

- 現在、安全に無理なく通学できる距離に小学校があり、とてもありがとうございます。各学校の規模に応じて、メリットを生かした教育を提供していただいており、木津川市の子育て環境に本当に感謝いたしております。いつもありがとうございます。
- これからもよろしくお願いいたします。
- 市内の公立小中学校は現状レベルが様々だと聞いているので、内申点も学校により取りやすい、取りにくいがあると思います。
- 市内の小学校の児童数に差があるのは承知しているが、規模のバランスを均す為の統廃合には反対。
- 市民に見える形の方針決定をお願いします。高の原幼稚園閉園についてはしっかりと地域や市民に情報提供して欲しかった。
- 児童数の減少が、即教育施設の統廃合とならないようにして欲しい。高の原幼稚園の場合も、閉園ありきで住民に事後報告された印象でした。何度もその都度、住民や保護者に情報提供と意見交換が出来る場を設けて欲しいです。
- 小学生低学年の遠距離通学は、事故のリスクが高くなるため、近距離に限定すべきと考えます。
- 制服をユニクロ制服にしてほしい
- 相楽台7丁目に住んでいますが、7丁目から木津二中まで徒歩で通うには距離があるので、自転車通学にしてほしいです。防犯の面でも、部活を終えて疲れて下校する際に、変質者につきまとわれても自転車だと、変質者から逃げやすいと思うので、ご検討頂きたいです。
- 保護者や地域の人も巻き込んで、進めていって頂けたらと思います。
- 落ち着いた雰囲気の生徒や学校、通学路で交通事故に会う可能性も低い住環境を変えらような学校の統廃合は現時点では望みません。

木津川台小学校（8件）

- 安全に通学できるような環境の整備をお願いしたいです。
- 学校の人数があまりにも少なくなった場合、人間関係に行き詰まったときや、自分自身を変えてみようという自己変革の意識が芽生えたときに、リセットをし辛いかと思います。新しい自分に変わっていける、成長していく環境であってほしいと思っています。
- 子供が減っても特に小学校は自宅から近い場所でそのまま行けるほうが、放課後の公園遊び、地域との繋がりとして、機能がまもられると思います。中学校については、人数の問題よりも思春期の心理的なトラブル、小学校からいきなり勉強中心になり内申点で翻弄される話を聞くので、小中一貫教育で、無理なく思春期に入つていけたらいいのにと前から思っています。小さい子供がおなじ校舎にいることで年下の面倒を見るところで成長しそうです

- 児童数が多い小学校に、色々と増設などの設備投資や経費がかかるのは仕方ないかもしれないが、昔からある小学校のことも大事に考えて欲しい。一部の小学校のみに大量の税金が使われるるのは不公平な気がしてならない。
- 小学校の統廃合反対。教育の機能をのこした複合施設として活用。
- 少数の学校は他校と交流ができる機会があれば楽しいかもしれません。授業やイベントでともにする等。
- 中学校で指定された通学路の中に危険な場所(道)があるが市外(精華町)であるが故に以前から何度も要求しても改善されていないと聞いています。車の交通量があっても他の道を指定して頂いたい。
- 中学校への通学が自転車であるが、体力的に、また安全面的に大変厳しいと思う。スクールバスを出すなど対応してほしい。大雨の中自転車で通学はおかしいのでは?

梅美台小学校（27件）

- 「10」で減少について問い合わせがあるが、木津中と木津南中が1000人近くになることの対策も考えてほしい。
- 2025年に城山台9~13丁目の生徒が木津南中の校区になり、木津中より200人も増えるのはおかしくないですか? 泉川などへスクールバスなどをを利用して校区とすることはできないのか。あるいは2035年からは木津南と木津中の人数がほぼ同じになるので、校区の変更は2035年でもいいのではないか。子供たちにとっては一度きりの中学生生活です。2025年1000人を越えることになる校区変更を中止して下さい。教室も仮教室や部活にも支障ができるでしょう。どういうことか説明会を開くべきです。
- いろいろと大変なご時世ですが、このような機会を設けて頂き、声が型になっていくのを実感でき、木津川市に住んで改めて良かったと思います。これからもより良い教育を目指して声を出し合っていきたいです。
- コロナ禍で家にいる時間が増えたので、出来る時はスポーツなど体を動かす機会が増えればいいなと思います。特に木津川市は、サッカーが盛んすぎます。野球やソフトやテニスなどもっと色々なスポーツに触れ合い興味がもてる環境になってほしいです。
- スクールバスを走らせて行きたいところに行けるようにすればよいと思います。
- そもそも、もう少し先を見据えた土地の開発(城山台)をして欲しかった。小学校中学校もそうだが、これだけ爆発的に子どもが増えて、高校に行けるのか等心配です。
- ないことがいいのですが、もし、あるのならいじめがあったときにいじめられるほうを学校から遠ざけるのではなくいじめてる方をきちんと指導できる体制と隠さない誠実さを望みます
- 各クラスに副担任を常時配属してほしい。
- 各校の学級数よりも、各クラスの在籍人数が多くならないように配慮していただき

たいです。

- 学区内での学童の増減があまりにも著しい地域は、通学区域も積極的に変更を検討した方がよいかもと思います。
- 学校が地域住民との交流が希薄で、基本的なあいさつもできていない様に感じる。
- 義務教育期間は居住地域で地域に見守られながら通学することが良いと思う。他地域で低学年の頃、片道 2.4 キロ 40 分もかけて通った経験があるが、安全、放課後の時間の使い方、疲労、熱中症等、通学時間は短いに越したことではないと実感しました。
- 現状でもいじめがあるので、先生一人辺りの学生の人数を減らすべき。
- 今後は生徒数が減っていくという事だが、現状の人数の多さも考えてほしい
- 市内それぞれの小中学校の児童数に大きな偏りがなくまんべんなく人数配分できるいいなと思う
- 児童数が減り、学校の数を減らして統廃合するなら、スクールバスを出して、子どもが安全に登下校できるようにして欲しいです。
- 児童数が減り、小中学校を無理のない程度で統廃合して、空いた学校は地域活動できる施設にリフォームして使用させて欲しい。（老人ホームや子供館など）個人的な意見としては保護犬保護猫の預かり施設として運用してほしい。木津川市でも殺処分される犬猫が〇匹になり、新しい家族のもとで暮らせるように。空いた学校を改築して利用したい。
- 将来的には児童数は減少する傾向かもしれないが、現在の各学校における児童数の偏りはできる限り解消する努力をすべき。現在空き校舎を持つ学校へスクールバスを走らせるなどの方法もあったのではないか。
- 少人数であればスクールバスの移動も可能。児童生徒数の少ない地域は近隣学校と統合した方が子どものためにも運営維持費面でも良いのでは。
- 城山台小学校の生徒数増加に伴い、人数が落ち着いてきた梅美台・洲見台小学校に児童を回すのではなく、南加茂台・加茂・恭仁小学校など児童数が少ない小学校へ通学にした方が、子ども一人一人への目も行き届くのではないかと思う。
- 城山台地域から木津南中学へ来る人数が多すぎる気がします。梅美台と洲見台の小学校からの進学だけにして欲しいです。なんで城山台からの流入を木津南の校区側が我慢しないといけないのか理解出来ません。
- 世界中の人々と将来関わっていくために、木津川市として特徴ある教育プログラムがあるといい。（例えば、9年間の義務教育を終えたときに外国語で会話が出来る力がついている、授業をプレゼンできるようなプログラムを生徒が作れるなど）
- 掃除日数を増やして欲しい。
- 宅地造成での一時的な人口増減に左右されず、今ある施設は最大限利用るべき。校区の見直しか学校選択を活用してはどうか、
- 中学校の児童が多いので梅美台にも中学校を、作ってほしい

- 特になし
- 特に無し

州見台小学校（19件）

- 1クラスあたりの生徒数を減らして、個々に目の行き届いた見守り教育、安心感を育て、生徒たちがのびのびと過ごせる環境を作つてほしい。また、不登校生徒に対する別教室の設置など、少数の子どもたちにも安心して過ごせる場の提供が必要。
- 3のアンケートの設計に問題あります。結果をどう活用するか?から作るべき
- あまり小中共に生徒数が増えることは、教師にとっても把握出来ないことが予想されます。親としても不安に思う。閉鎖された空間では見えないことの方が多いので少しでも大人の目があるのが望ましい。
- クラス数などの設問に関しては、気にしていない、こだわりはない、という選択肢も欲しかったです。中学については実情が全く分からないので、アンケートより、統廃合に関係ある立場の先輩保護者の声を聞いて考えたいです。
- それぞれ地域の環境があるので、それを乱す事は辞めて欲しい。子供にとって生活環境は、1番重要。それによって将来の人間性が造られると考えます。
- もっと、少子化についてや、戦争について知るべきことが多いと思います。少子化だと将来どうなって、税金がどうなるとか具体的なことを学んでほしい。そして平和であることが当たり前にならないように、学んでほしいです。
- 何故、城山台に中学校を作らないのか理由がわかりません。子どもが増えたら教育の場が必要なのは誰が考えてもわかる事。皺寄せが他の学区に及び、子どもの環境が悪くなるのが納得いかない。
- 関係ないかもしれません、コロナ禍で学校での思い出が作りづらい現状なので、普段の子供達の姿を残してあげれるような、写真や動画を作る機会や授業があれば子供達も楽しいし、喜ぶのではないか?
- 児童数減少の前に、増えすぎている今を何とかしてほしい。
- 質問12についてです。現状、子供の数が増えているので、校舎などの設備がなり増築されている状態。子供の数が減っていくにつれ、将来的に校舎や設備が余ったりする可能性が考えられる。その際、福祉施設や何かしらの企業との併設をすることで、学生時代から社会との関わりを学ぶ機会にならないかと思う。定期的に高齢者との関わりを持ったり、昼食の配膳などの仕事を子供達に与え、きちんと報酬を支払う。その報酬はそれぞれのクラスや学年のために生かせるものに使う…など、働く事、お金についても学びながら社会に貢献するという経験ができるのではないかと思いました。また、日中は学校生徒のためにダンスや音楽、芸術の授業で専門家が指導に当たり、放課後や授業のない時間は地域住民に解放し、誰でも利用できる習い事施設を作るのも面白そうだなと思いました。警備の問題などはありますが、マイナンバーやICT的な事を駆使す

ればクリア出来るのではないかと思いました。どこの自治体もやってないような新しい、面白い木津川市になって、もっと魅力的な事が出来るんじゃないかなと思います。

○ 小規模校にも良さがあるとおもうが、子供の数が多すぎる学校は弊害が生まれると思う。子供の数が多すぎる学校は適正数にするか、先生の数を増やすなどし、一人一人に目が届くようにしてほしい。

○ 少なくなっても、1学年2クラス以上が望ましいと思う。

○ 城山台では学級増加が問題となっていますが、新しい校舎を作るのではなく、多い地域はスクールバスなどで集団で空き教室が沢山ある学校に行ってもらうなどしてみてはいかがでしょうか。新しく作って、人が減れば余ったままの教室が増えていくのはもったいない。

○ 城山台は一時的に生徒数が増えますが、表を見る限りは減少するので新校舎などはいらないと思います。生徒数の少ない学校へスクールバスなどで通学すれば良いと思います。

○ 城山台小学校のみの爆発的な人口増加が予想できていたはずなのにこんなにも問題山積みなのはどうしてなのか疑問です。もう少し学校の数は増やせないのですか？

○ 人口減少による地域の学校の統廃合は、近い将来に行われるとは思うが、具体的な数値化やわかりやすい説明をお願いしたい。

○ 土地開発、住宅開発が進む中で、木津南中学校に、急に城山台小学校地区を入れることを拒否する。家を購入する段階で、学校のことは予想できたはずであるし、自身はそれを考えた上で現在に至るが、城山台が入ることで、予定が変わり大幅に大規模になる。計画した上で生活設計しているのだから迷惑である。

○ 特になし

城山台小学校（90件）

○ 。

○ 12の設問、地域に開かれた施設となることも大事だと思います。廃校した場合はそのままにせず、有効活用の方法も合わせて考えて欲しいと思いました。

○ ①城山台から木津南中学への自転車通学の許可（自転車道もあり木津中学の通学より安全性も高い）②通常校区から他校区へ通学する場合、一世帯につ補助金を交付③スクールバスを確保し、2年から5年の間に平等に児童1人一回の別校区への通学の実施（希望性では希望するものがほぼいない）

○ ①城山台小学校から木津南中学校までを自転車通学にして欲しい。②学校選択制にするならスクールバスなど出して欲しい。③ランドセルではなくランリュックで統一④卒業式での袴着用の自粛⑤高学年に対するスマートフォンやSNSへの指導強化

○ 1人1人の個性に合わせて子ども達がのびのび成長できる環境を作ってくださるならお任せします。

- 20年後も大事かもしれません、人口が増えている地域のこの5年、10年をもっと真剣に検討してほしい。
- IT導入があまりにも遅いと思います。ITを上手く組み合わせることで、問題解決の一助になるのではないでしょうか。
- いずれ子供が減少していくのは当たり前の事。それより今のこの多すぎている状態の対策をもっと考えてほしい。
- いつも城山台小学校に様々なご配慮をくださり、ありがとうございます。規模は大きいですが先生にも施設にも恵まれ、子どもは楽しく通学しています。
- クラス数が多いものの、担任の先生の目が届きにくいのであれば20~25人程度の少人数制クラスを望みます。あとはコロナ禍ではありますが、学校や学童共に、外遊びができる機会を増やしてあげてください。
- これが必要だろうか?という宿題が多い、それに追われて学習の機会が奪われる、学力に応じた柔軟性に富んだ対応を望みます。
- コロナや感染症対策の観点で言うと、規模の大きい学校は感染対策の方に人手が裂かれ、コロナ禍による子供たちの人間関係を築く力への弊害など、目に向けてほしい問題に取り組めているのか疑問である。
- コロナ関係なしに、子供達が自習できるようなオンラインコンテンツの普及と給食費や用品購入に関するところでのデジタルキャッシュツール導入を強く願います。銀行振り込み等は時間の無駄に感じます。
- しろやまだいい小学校はクラスが多すぎる。体育や、休み時間の運動が制限されるので、どうにかしてほしい。後、どこの小学校にいても、中学校は選択の自由がほしい。その際の送り迎えは親の責任で。
- なし
- 何が良いのか分かりませんが、小学校についてはのびのびと自由に過ごせる環境があれば良いと思います。
- 学級数が多いことは良し悪しがあるが、人数が多いことで運動会等の行事が縮小されたり休み時間の過ごし方に制限がかかるのは少し残念に思う。
- 学校だけでなく日本、地域全体の問題です。2050年には人口は9000万人まで減ります。画一的な対応だけでなく地域ごとに持続可能な対策をとるべきだと思う
- 給食が質素なのでできれば増やしてほしい、ただ色々な国の食事を体験できる献立は今後も続けてほしい。中学校は選択制にしてほしい
- 距離に関わらず中学生の通学に自転車使用を願う。木津川市に公立高校が少なすぎる。高校まで安心して進学出来ると、近隣の地域から引っ越しを考えれるのでは。
- 教師の質をあげてほしいです。教師による能力に差があると、感じます。
- 教師の怠慢で最低限の教育も行えていない。それ以上に教育委員会の責任のなさに呆れる。

- 減少している地域の統廃合は進めるとして、城山台小学校の急増問題にはしっかりと対応すべきと考えます。1学年1クラスも問題ですが、1学年9クラス・10クラスではクラス替えにより毎年ほとんど入れ替わることになり、小学校を通しての継続的な友達ができません。これは、2年生・3年生を別校舎にする対策では解決できません。毎年接する子がほとんど入れ替わり、小学校を通しての仲が良い友達ができなかつたという卒業生を生み出していくことは良いのでしょうか？また、コロナの感染者増加や天災などの際には、柔軟にオンライン授業を取り入れてください。他自治体でできていて、できない理由はありません。よろしくお願いします。
- 今回のアンケートとは関係ありませんが、ここ最近小学校の卒業式に袴を着るのが何となく定番になってきていますが、価格も安いものでは無いので揃えるのが大変なご家庭もあるだろうし、着付けなどは早朝から行かないと間に合わないなどの困難があるので、禁止とまではいかなくても少し自粛するようにして欲しいです。
- 子育No.1の町と掲げておられるように、教育に力を入れてほしいです。
- 子供が安全に登下校できるよう通学ルートや通学手段などの見直しや検討をお願いします。街灯があっても下校時の実際の道はとても暗く、とても安全だとは思えません。
- 子供達がめいいっぱい体を動かせる場所がない。勉強も大事ですがもう少しその辺に力を入れて欲しい
- 児童数が増えすぎています。城山台にもう一校小学校と、中学校が必要と考えます。他の地域の生徒数が減ってるのも理解できますが、城山台からの中学校への道も旧道で狭く、危険で正直通わるのが心配です。スクールバスを出してほしいです。
- 児童数増加に加えコロナ禍において保護者同士の面識の低下が著しい。学年の繋がりが希薄。学校は何でも相談して欲しいと言う割には働き方改革を掲げ、電話連絡を遠慮しなくてはならない風潮。子どもの様子が分からず相談しづらい。
- 小学校と中学校を増やして下さい。今のままだと事故や事件に巻き込まれる可能性があります。たいへん危険だと思います。
- 城山台からスクールバスを出してほしい。
- 城山台から木津中学校までが遠すぎるし、道も危ないのがとても気になります。電車通学かスクールバスを検討して頂きたいです。
- 城山台から木津南中への登校に自転車を可能として欲しい。登校通学路が人気のない道なので、防犯上不安。電灯を増やすか、登校路の変更希望。
- 城山台に公園に遊具をたくさん作り充実させてほしいです。子供達の遊べる場が少ないです。
- 城山台に新たに入る方に小学校の現状を伝えるべき。こんなに人数が多かったと知っていたら他の土地を考慮した人も沢山いたはず。様々な事に関して情報発信が無さすぎる。又はその情報に触れる機会が無さすぎると感じた。
- 城山台に分校でもいいから小学校と中学校を建ててほしい。小学校の人数は異常で

運動場も密でのびのび育たない。中学校はあの人数が通うには遠すぎる。

○ 城山台のみに児童、生徒が集中しているのは、市の政策ミスだと思います。一時期のみの問題だからと中学校の地域を分けると言った目先の対応をするのではなく、中学校の新設を望みます。また、小学校においても、努力していただいている校舎や体育館新設など部分はありがたいですが、グラウンドが狭かったり、まだまだ課題はあると思います。これからも、隨時対応をお願いいたします。

○ 城山台は、多すぎて先生らや子供のコミュニケーションがなさすぎているのでは?と、考えます。低学年は、全然知らないことだらけです

○ 城山台校区から、木津中学へスクールバスが必要です。

城山台小学校が人数多いからって中学校は別々になるとかやめてほしい!みんなで一緒に中学にあがりたかった!

○ 城山台小学校が抽選入学になるという噂を聞き不安に感じています。他の小学校に割り振られても登校手段はなく、母親の退職を余儀なくされますし、きょうだいで学校が違うことで考えられるデメリットも多いです。市主体の開発の責任を住民が負わされることのないような対応を心よりお願いいたします。

○ 城山台小学校だけが飛び抜けて生徒数が多いため、小・中学校の分校の建設や遠い学校へのスクールバスでの通学を希望します。

○ 城山台小学校の校区で遠い地域には、防犯面や自然災害を考えてスクールバスを出してほしい。

○ 城山台小学校の人数が多くて、現5年生から中学が別々になってしまるのは仕方ないことだとは思いますが、中学まではみんな一緒だと思ってたからとても残念に感じます。寂しいです。

○ 城山台小学校の生徒数が多すぎです。改善の取り組みをお願いします。

○ 城山台小学校の生徒数は法令の標準を遥かに超えていますが、一人ひとりに目が行き届いているのでしょうか?疑問です。

○ 城山台小学校の大規模校を分散するなど教育しやすく安心安全な場所として機能できるようにすぐに対策してほしいと

○ 城山台小学校は、子供の数が多すぎる一方、隣の小学校では1.2クラス。あまりにも偏りがある。狭い校舎で今後必ず来る大震災においても、我が子の身の安全が危ぶまれる。教育委員会は、今ある資源を生かし、市全体の子供の経験や教育が偏らないように工夫するべき。

○ 城山台小学校は、大規模であるが故に様々な制約や課題が生じ、子ども先生ともに大変だと思います。誰もが通いたいと思える学校であってほしいです。

○ 城山台小学校は1学年で小規模校1校分の人数に値する。低年齢の内に人間関係を築くには多過ぎて希薄になってしまう。人格形成において大切な時期に適さない。早期に対応をして欲しい。

- 城山台小学校は児童数が多く、子供たちがのびのびと、行き届いた教育が受けれるのか疑問です。
- 城山台小学校は生徒数が多すぎるため、授業での体験が他校より少ない様に感じます。
- 城山台小学校児童数が増加、拡大傾向にあり、様々なことが、制限されてきている。中学校までの、通学安全確保の為にも、城山台に、中学校を作るべき。
- 城山台地域が過密すぎる。今後小中一貫校の新設等幅広く保護者の意見を聞いて考えていいってほしい。
- 城山台地域にも中学校をつくっていただきたいです。交通量の多い通学路を自転車で通わすのが怖いです。雨が降ったときは危険かと思います。徒歩圏内の中学校を望みます。又、同じ地域なのにお友だちと離れてしまうのはどうなのかなと考えます。
- 城山台地域に住んでいます。児童数増加で中学校への通学が不安です。市内では、児童数減少傾向との事なので地域を超えて中学校が選択出来ればと思います。早急に対応頂けると保護者としても安心します。また、事後報告ではなく市の方針をその都度小出しでも良いので報告があると、中学校へ向けて各家庭で準備があるのでありがたいです。どうぞよろしくお願い致します。
- 城山台地区の人数増加で、中学校の学級数が多すぎることに対してどう考えられているのですか？2校に分けたところで解決に至っていないと思います。1学年の学級数が多いことによって、学校として1人1人の子どもにしっかりと目が行き届くのでしょうか？
- 新6年生、人数もそんなにいないので中学をわけないでほしいです。家も近く仲もいいので子供も別れたくないと言っています。あと集団登校で学校横の遊歩道に集合する意味がわからないのでコロナもあるので学校横集合なら廃止にしてほしい。
- 人数が減っている地域と増えている地域が混在しているため、通学エリアの再編成が必要かと思う。また、離れた場所ではスクールバスを設置したり、分校扱いで存続させたりする必要があるかと思う。
- 人数が多すぎて、仲良しの友達が出来ても中学校で別れたり、城山台に工場より、学校を作りたて欲しい
- 人数が多すぎると、子ども達の活動や遊びなどに制限がかかる事が多いと思うので、心配。
- 生徒が1学年に多すぎます。小学校が足りないと感じています。運動場で遊ぶ機会が限られたり雨の日の体育も体育館に変更もできません。
- 生徒数の数や、クラス数等の心配より、学力にもっと目を向けて欲しい。進学校や、大学附属の学校などもっと色々な進路を考えれるような学校作りをして欲しい。正直、どこの学校でも風紀が乱れている生徒が目立っている。
- 先生の仕事の負担が減流ことを願います。不登校児童の居場所がほしい。

- 増やしすぎることを恐れるあまり、今を生きる子供達に弊害があつてはならない。そこをなんとかするのが教育の醍醐味です。変な分断を生むようなことだけはあってはならないと思います。頑張ってください。
- 他地域の長所、短所のリサーチと共にいい所をどんどん取り入れてほしい。
- 遅刻等、登下校の見守りが大変で危ないです。4月から中学生になりますが、自転車の危険運転、事故など通報が出来るのか不安です。。
- 中学生の子供もいるのですが、教科書が沢山ありすぎて、自転車での通学が荷物が重くとても心配しています。私達の時のように、ノートと教科書、資料などのみにして頂きたい。実際に教師達は、荷物の重さをわかっていますか？天気が良い日だけではありません。今一度確認してほしい！！
- 適正な生徒数で授業が受けられるよう、対応をしっかり考えて欲しい。問題が起きてから対応を考えるのでは遅すぎる。
- 統廃合するよりも、当面は城山台地域の児童・生徒を分散させるように考えればどうか。学校の無い地域には新しい人が流入しにくいと思うので、学校数を減らすとますます子どもの数は減ると思う。
- 統廃合は反対である。
- 統廃合は反対です。
- 統廃合は反対です。アンケートをその方向へ誘導するように使うなら反対運動も行います。
- 統廃合反対
- 特になし
- 特に城山台は他の地域から来られた方が多く、昔からのしがらみもなく過ごしやすい地域だと思うので、新しい風を木津川市に吹かしてほしい。
- 日本におけるマンモス校の利点はない。
- 放課後だけでなく休日も、公園で禁止されているボールやスケボーで遊べる場として学校施設を開放してあげてほしい。
- 放課後に学校解放をして子供の活動の場を作つて欲しい。
- 本当に今後の木津川市のことを考えているのであれば木津川市教育委員会は一度解散するべき。また学校の場所も、新設と統廃合を合わせて考えるべきと考えます。
- 木津川市に過大規模校、小規模校（過疎化）が混在していることは認識しているが、適正規模を目指し、必要な校舎の新設、スクールバスによる登校等必要な投資は行うべきと考える。その場しのぎの対策しかできていない印象が強い。
- 木津川市の教育は保守的・閉鎖的な意識を感じる。画一的であることを強要するのではなく、開かれた教育によって地域への意識の醸成を期待したい。
- 木津川市は移住者が多いが、子ども達にとってはここが地元・ふるさとになる。子どもにも保護者にも、地域への愛着を高める教育を実施して頂きたい。

- 木津川小学校付近は浸城山台小学校ではなく州見台もしくは梅美台にやらしたかったです。しかし、問い合わせたところ、全て保護者の責任において送迎等をお願しますので、万が一死亡事故などがおきても、一切の責任は取らな。すべてそういうご決断をされた保護者の責任になります。特別区の学校にいかせることはそういうことなんですよと電話で問い合わせた時市役所の方にいわれホームページや書類に記載されてるのは建前なんだと、衝撃のあまり断念しました。城山台小学校は先生もきちんとされてはいますが児童数がおおすぎです。梅美台や州見台が減ってるのなら、そちらにやらしたいので区域を変えてください。
- 木津中への城山台からのスクールバスを早急に検討希望。通学路を自転車で走る生徒数の多さに対して、置き本や時間差通学を強く推奨されたが、個々の責任での対応を全面に掲げられる中学に、誠意を全く感じない。数十年後生徒数減少より目先の増加に対して木津川市は冷たすぎる。
- 木津南中も自転車通学できるようになるといいかなと思います。

加茂小学校（12件）

- このような事態になったのは市の運営の問題も含まれると認識しています。全員の意見を取り入れることはできないにせよ、資金の問題で出来ないということのないように解決してください。そしてアンケート結果は必ず公開してください。
- スクールバスの活用を検討いただきたいです。猛暑日の、日陰のない通学路はつらいと子どもが言ってます。
- 異文化交流を盛んにし、地球全体のこと、世界で何が起こっているかをみんなで考えられる機会を増やしてほしい。
- 加茂小ではテストを40分で実施して40分のアラームがなっても先生が止めの号令をかけないと息子はいいます。時間内に問題を解く回答作成が身についていません。毎朝6時半の加茂発の電車で通勤してますが毎朝加茂小学校の職員室と3階の6年制のクラスの教室の電気がこうこうとついています。毎朝なにしておられりのですか?電気代の無駄では?
- 核家族が増えて、習い事やるのも多数である家庭環境が多い中、PTAなど半ば強制的にボランティアを強いられるのは辛い
- 学校は、親が常に安心して送り出せる場であって欲しいと思っています。
- 学校規模はそのままで良いが、通常級でも支援が必要な子供達が高学年でもいます。そういう子供達に支援の目が行き届くよう支援教員の数を増やして欲しい。
- 教育に力を入れてほしい。
- 児童生徒数が減少したとしても、学校の統廃合には反対です。その地域の過疎化が進むと思います。学校あっての地域だと考えます。無くすことは考えられません。
- 周辺に小学生が全くいない地域に住んで、1年生から約3キロ近い道のりを徒歩で

通っています。いっしょに登校できる小学生が周辺にいない相談を何度もかしたが、いい回答は学校からはもらえず…。朝から大型トラックがバンバン通り歩道が無い道のりを、途中まで、毎日歩きか車で送ることを続けています。銭司からのバスが近くを通り過ぎて行き、低学年のときは、止まって乗せてもらいたいと思っていました。現状の相談を入学前からしていたが、特に取り上げてもらえず…高学年になっても、あのトラックがドンドン通る道を1人で行かせる勇気ができません。相談にのっていただきたかった。

- 少人数でたくさんの先生が目をかけて下さり、子どもはとても嬉しそうです。感謝しております！
- 統廃合反対！こんなアンケートで統廃合するなら団結して猛反発させていただきます。

恭仁小学校（21件）

- アンケート項目、検討委員会の議事録を読むと、統廃合の結論ありきでそれを補完するためにアンケートを利用すると推測される。私が回答した内容は統廃合に利用するのではなく、現状を改善することに使用してほしい。
- クラス数や、人数よりは、内容の方が大事だと思います。人数が多い事が良い訳でも、人数が少なのが悪い訳でもなく、どんな人数でも学校や先生方、保護者が子ども達にどんな環境を与えてあげる事が出来るのかを、しっかり向き合いながら置かれた状況で真剣に考える事に意味があると思います。
- このアンケートには統廃合に誘導しようとする意図が感じられます。集団の大小に関わらず、学校での学びは大きいですし、地域の中で育てるという意味でも統廃合には反対です。
- 安易な統廃合には反対です。
- 議事録をよみ、恭仁小の廃校の話が、保護者不在の場で出ていることに、憤りを感じます。地域の方々、自然、歴史、先生、異年齢の繋がりがとても深いと感じております。少人数制は、子供の自主性も育てますし、人を大切にする気持ちも育みます。恭仁小を廃校にしないでください。特認校に認定して、恭仁小の素晴らしさを、他地域の方々にも知っていただきたいです。また、スクールバスで城山台の送迎バスを出し、学校選択しやすい環境を作ってほしいです。現実的に、共働きが増えているので、毎日の送迎は恭仁小に来たくても、送迎の問題で断念する方々が多いと思います。宜しくお願ひします。
- 恭仁小ほど歴史を生で感じながら文化について学べ、多学年との濃い繋がりを経験できる学校はありません。この学校を失くしてしまうという方向性が木津川市としてその選択が適切な判断であるのかという点について疑問しかありません。よってこのアンケートの問い合わせ自体にも強い疑問を感じます。、
- 恭仁小学校のような小規模小学校の良さを大切にしてほしい。恭仁小学校の村の思

いのつまつた成り立ちの歴史を大事にしてほしい。地域環境、子育て環境を考えてほしい。

○ 恒仁小学校は歴史もあり、色々な体験が出来る小学校であるから、絶対に統廃合等で潰す事のない様に、強く望む。城山台小学校は日本一のマンモス校になるのだから、先々の事を考えるではなく、今を現在通っている人の事を考えて、新設校建てる気がないのなら、学校選択制を取り入れなければならない。スクールバスでの送迎もしなければならない。これは義務教育です。教育委員会の責務です。今を考えてもらいたい、教育委員会さん市議会議員さん市長さんみんな。

○ 小規模校には小規模校の良さがあり、我が子は小さい集団の方が過ごしやすいだろうということでわざわざ越してきました。効率一辺倒で統廃合することには反対です。

○ 小規模校の統廃合に反対です。多様性と少人数は比例しない。小学校は子ども達だけの問題ではなく地域の存続にも関わってくるので、住民のための行政を望みます。

○ 城山台小学校の選択制導入で他の学校へ通学されている方は、本来地域の学校に行かせたいけれど子供のことを考えて苦渋の決断をされていると思います。そういう方がせっかく選んだ学校にまた通えなくなるというのはあってはならないことです。少なくともその子供たちが卒業するまではいずれの地域でも統廃合などはすべきではないと思います。

○ 数字だけで判断せず、現状で子ども達の為にできることを、地域学校行政と一緒に考えたい。小学校は小さな範囲の地域密着の教育が受けられる唯一の時期と思う。どの学校に通っても等しく教育が受けられ、大事にされてほしい。できることは協力したいと考えています。

○ 選択制であれば、子供達だけで登下校出来る様に、スクールバスがあっても良いと思います。その地域に応じて円滑に対応していただけたら住人としては嬉しい限りです。

○ 地域に根ざした小規模校こそが、子どもの肯定感を育み、多様性や自主性が豊かになると考える

○ 地域住民の意思や考え方を無視したような強引な進め方は止めて下さい。それに関わっている方々、一生怨みます。しっかり当事者たちから話を聞いてください。

○ 徒歩圏内に小学校があることは防災の観点、地域活性化の観点からも重要だと思います。児童数の減少だけをもっての統廃合には反対です。

○ 統廃合ではなく学校選択制にして欲しいです。

○ 統廃合で地域から学校がなくなれば確実に限界集落となる。それを次世代に渡すのか。本当に子どものためを考えるのなら、地域に学校をいかにより状態で残すのかを考えるべきだ。地域がどうなっても痛くもかゆくもない立場で決めるべきではない。

○ 統廃合に関しては、賛成反対あると思うので、統合の場合に一緒になる地域全ての住民が、一緒に話し合える場を持つのがよい。アンケートや、書面のみで、事案を進めるのは、市行政への不信感につながります。このような問題は、とにかく話し合いの場

をもち、住民と行政が、何回も話しあう事が大切です。市長、教育委員長、地域の市会議員、住民の同席が必要です。

○ 文化・歴史・自然豊かな環境で子育てをするためにニュータウンから恭仁小学校区に引っ越した。小規模学校に変わってから子供が友達と深く繋がるようになり学習意欲が上がった。統廃合になると 150 年の歴史を誇る学校を失うだけでなく、地域の過疎化が加速することを懸念する。

○ 歴史伝統文化があふれる恭仁小学校です。地元住民として守って行きたいです。特認校として認定して頂きたいです。木津川市内のお子様が恭仁小学校で学びたいと選んで下さった際にはですね。安心して登校できるようにスクールバスの運営をお願い致します。

南加茂台小学校（11件）

○ ●教育委員会委員や市役所内との連携が薄い。市職員の態度が悪い。以前、相談に行ったが「もう話は聞ません」と突き放された。●担任の先生と保護者の連携が難しい。忙しすぎてこんなことまで相談して良いのか、と悩むことが多い。

○ ICT や働き方改革など進むなか、学校だけが時代錯誤な集まりやムダが多いです。役が当たってからの異論は理解され難いので、学校からの積極的な改革を求めます。・集まりは参観や懇談後含む子供が学校にいる時間帯に開催・ZOOM など在宅での参加を可能にする・PTA の退会方法の明示と退会用紙の配布

○ 学びたい事を個別に選択する機会が増えると良いと思う

○ 子どもを育てやすい環境を望みます。これ以上小学校を減らすのではなく、子どもがのびのびと学べる場所の確保をお願いします。人数が少ない事が教育的にダメな事ではありません。加茂町のままの方が良かったと思わざるおえません。

○ 子供の数が少なくなっていて廃校しないでほしいです。他の人数が多い学校から、教室に余裕のある学校へバスで登校できるようにしたらいいと思います。

○ 小学校が統廃合するとして、それによって小学生が広範囲の地域を放課後も行き来することになると思います。その際に安全な交通手段も、統廃合検討の際に一緒に考える必要があると思います。

○ 城山台の児童数が過多なことで通学区域を超えたとしても、安心して送り出せるスクールバスのようなものが必要。親に通学の送迎を任せるのは違うと思う

○ 地域に根ざす意味でも、ある程度の人数がいれば地域に小学校は必要だと思います。人数の多い地域が分散されるといいのに、と思います。

○ 統廃合反対

○ 南加茂台や城山台のような大規模な開発をせずに、継続的な都市開発をすることで、児童の数も安定するのではないかでしょうか。また、資料の中学生の人数が小学生と合わないのは、市外への排出を想定しているのでしょうか？

- 木津川市は統廃合を推進したいようだが、反対です。特に小学生は住んでる地域で育てるべき。予算の問題ではない。

上狛小学校（6件）

- タブレット活用ができない、長期休みの時せっかくタブレットあるからやってくださいっていうてもできませんと、学校に行けなくて、友達との関わりもなくなり不安だった
- 学校の遊具が30年以上前の物であり、危ないので新しいものにしてほしい。
- 近くにいくつもの学校があるなら、統廃合も可能かと思うが、あまりにも離れている地域だと厳しい。
- 小さな学校は小さいなりの良さがあります。地域によって生徒数のバラつきは仕方ないですが、小さな学校が存続できるように他地域から希望すれば通えるようにするなど、大きな学校と小さな学校のそれぞれの良さを活かして欲しいと思います。
- 全校が少ない学校では、部活の選択肢が少な過ぎる。平日も他校にある部活に参加できるようにして欲しい。
- 閉鎖的環境は考えが固まるので自由な選択肢の多い環境が必要だと思います

棚倉小学校（9件）

- PTAに頼らないとできない学校運営なら、学校統合して先生一人の手間を無くして時間を持って働き改革とか止めて頑張って働いて。
- スクールバスの導入を願う。特に生徒数が少ない地域では中学生の部活帰り等遅い時間帯に途中から一人で帰宅する生徒も増える為、事件事故に巻き込まれないようスクールバスが必要。コミュニティバスを生徒の通学時に利用できるよう早急に検討してほしい。
- 学校規模は、市内でもかなり差がありますが、特に自然が豊富な過疎化地域に存在する学校は、新たに作られた新興住宅地内の学校では学べない教育活動も沢山あり、今や大変貴重な価値ある学校であると思います。それぞれの良さがあると思いますので、人が集まる学校だけを統合して残すことには反対ですし、子どもたちが学べる環境も幅広く残すべきと考えます。子どもたちの学びの場が地域にあるからこそ、過疎への子育て世代、若者の移住も拡大、発展につなげていけるので、絶対に高齢者世代が多くなっている地域の小学校を無くすべきではないと思います。地域活性化と学校教育、学校を中心とした魅力ある活動がもっとさかんに行われていくことを願っています。
- 子供の数が減り、統廃合は仕方のないことだとは思うが、通学時に危険な箇所があるならば、それをどう対応できるのか?ということが心配
- 児童数が減少することは同時に個性を伸ばせるいい状態であり、統廃合で無理に児童数を増やす必要はない。設問では学級数を述べていたが、重要なのは学級単位の児童

数。

○ 城山台地域の人口増加に伴い、今しか使わない校舎を増築するのは反対です。乗車率の少ないコミュニティバスをスクールバスとして活用して、山城地区など1クラスしかない学校に児童を送迎すれば少しは分散されるのではないかでしょうか。6年間保護者が送迎するのには負担が大きいと思います。

○ 棚倉小学校は1学年1~2クラスで人数が今でも少ないので、将来に向けて考えた方がいいと思います。昔から月組、花組という呼び名で恥ずかしい。時代に合ったやり方にして欲しい。田舎なのでしょうがないかもしれないけど、区域の端っこは遠いので可哀想です。

○ 都会で育ったので学年は小学は6クラス、中学は12クラスありました。ひと学年のクラスが少なすぎ、スクールバスを利用できるようにして統合したらいいと思う

○ 木津川市内でも地域によって人口差が大きいので、揃えることは難しいと思います。地域の学校に通い、地域の事を学び、地域の方々と触れ合うのは大事な事と思うので、校区を越えての通学はあまりさせたくないと思います。

木津中学校（12件）

○ ・投資についての授業を取り入れてください。・安全に通学出来るように通学路の整備とスクールガードリーダー配置。図書の充実と図書司書の配置。

○ 夏にエアコンを入れて頂き有り難いが、暑がりの人に行わせてエアコンが寒く、更に扇風機との併用で、我が子は時々風邪をひいてしまいます。夏の上着着用を許可して頂けると助かります。

○ 現在も通学路の交通量増えてきている地区が存在する。いち早く安全に通学できるようスクールバスの導入などを考慮して頂きたいです

○ 高校大学の誘致を促進してほしい

○ 授業内容が学校で理解できるように教師陣のスキルアップをしてほしい。塾等へ通わなくても授業でちゃんと理解できるようにして下さい。

○ 塾の費用を税金で補助する動きが大阪でしたが、本来学校でしっかり勉強を教えてくれればいいことだと感じます。勉強に不安がある子供に補習とか学校で取り組んでほしいです。

○ 将来的に旧加茂町、旧木津町、旧山城町で各々学校を1校になったとしてもスクールバス等で通学の補助があれば少し遠くても通えるかと思います。まずはそうならない未来を信じたいです。

○ 小学生低学年から、社会経済、環境問題を中心とした教育を学年ごとにレベル化して学んで欲しい。例えばパン一つがどのように造られ出荷、陳列、販売、購入し食べることができるのかなどのプロセスを今までの教育より詳細に。

○ 先の状態より現状をなんとかして欲しいです。現状の中学校の様子でも、クラブ活

動後の下校時間すら保護者は把握出来ない状態である。人数が多い少ないに関係なく、教育活動の場として最低限の情報は欲しいです。クラブ活動の朝練の有無でも保護者に何の連絡もない。朝練の日程が分からず参加しなかった生徒に対して先生は生徒に言うた言うてないとなり、生徒が責められる状況は見るに耐えないです。生徒にも保護者にも分かるようにして欲しいです。口頭で生徒に言った言うてないではなく、紙面でもメールでもいいので朝練を含むクラブ活動の日程の情報が欲しいです。助けて下さい。

- 中学校の自転車通学の事ですが、希望制にしていただきたいです。
- 長文でも書き込みやすいフォームにしてください。書き込みにくいです。
- 木津中学校の現 1 年生の 1 クラスの人数が 39 人は多過ぎる。1 クラスの人数を 30 人前後にして学年のクラス数を増やしてほしい。1 クラスの生徒数が多すぎて教育が行き届いてなくて学年平均が 1 年生なのに低すぎる。先生の教え方が悪いのかわからないが。。。2 年後には受験があるのに不安で仕方がない。中学校によって学力に差があるのはものすごく不満。

木津第二中学校（18件）

- 1 学年 2 クラス以上あれば、通学時間を考慮して現状維持が良いかと思います。中学は学年 2 クラスでは学校毎に学力的に偏りが出てくるのではないかと思います。
- クラス替えをやめた方がいいと思いました。コロナで行事が少なくて思い出もありないまま例年通りにクラス替えをしていいのでしょうか。現代の時代にあった方法を試してみるのはどうでしょうか。生徒の意見を積極的に取り入れてください。
- もう少し先生の教育をして欲しい。他の生徒もいる前で怒鳴って物にあたる先生や、事業中にドッグレース等の動物愛護的にも悲惨なギャンブルを進める先生がいると聞きます。悪いことをして怒ったり、雑談されるのは構いませんが、内容や場所を考えて欲しい。
- 以前から木津川台から木津第 2 中学校までの通学については交通面で心配な面がありました。できれば木津川台小学校で小中一貫校になればと思ってます。
- 学級数よりも全学年 30 人学級にして、一人一人に目が行き届くようにしてほしい。
- 学区を好きに移動できるといい。自分の居場所を自分で選べるといい。
- 学校があまり遠くなると、通うのがますます億劫になり不登校になる児童が増えると思う。
- 学習面ばかりに力が入りすぎているように思います。心を育てる場としての教育にも目を向けて欲しいです。
- 義務教育において統廃合よりも ICT の活用などによる物理的距離を越えた交流促進や授業を志向すべき
- 現時点では情報が少なく、あまり意味のある回答ができなかったように思います。申し訳ありません。

- 習熟度別などクラスの規模にとらわれず、それぞれの子供の勉強の理解度にあわせた授業運営をして欲しい。
- 少子高齢化がますます進む今後は、防災拠点や子育て支援、高齢者福祉との複合化をはかることで、より学校の存在意義を増してほしい。今ある学校を減らすことなく活用し、子育て支援NO.1の魅力ある木津川市にしてほしい。
- 先生の負担を減らす為に学校に色々機能を担わせるのを考えるべきです。
- 副教科（とくに体育や家庭科など）は地域の方や卒業生の父母などに協力してもらうといいと思う。目が行き届き、けがをすることも減るだろうし、得意な人から学ぶと子どもの能力を伸ばすことにもつながると思う。地域の方とも交流が増えることで防犯等にも活かせる。
- 放課後のスポーツクラブを充実させてほしいです。
- 木津川市の中学校は学区制にも関わらず、学校によって学力の差がありすぎ、定期テストの難易度の差もあります。それは、本来おかしいのではないでしょうか。授業を受けてればわかる問題を定期テストで出題し、点数につながると子どもたちの自信につながると思います。そういう教育をしていただきたいです。
- 木津川台は二中校区なので自転車通学です。雨の日などは坂もあり、遠いので事故が心配でした。スクールバスもあればいいのにと思っています。
- 木津川台区なので木津第二中学校へ自転車通学です。1つ目 通学路に山田川へ転落する可能性がある場所がありますが、精華町なので以前からお願いしている様ですが改善されていません。車の交通が少ないという流なのでしょうが他の道に変更できないでしょうか。2つ目 京奈和道の側の道は人通りも少なく夕方には真っ暗です。南陽高校でも通学を避ける様に言われていると聞きましたが、中学校の通学路です。危険です。3つ目 校内の自転車置き場から校舎まで屋根がありません。雨の時はビチョビチョになって走って行くそうです。
着て行ったレインコートを干す所もなく濡れた自転車にかけておくしかなく、帰りは内側もビチョビチョで風に飛ばされている事もある様です。
子供達がより安全で健全な学校生活が出来る様によろしくお願ひいたします。”

木津南中学校（20件）

- コロナ禍、私たちの思う当たり前が当たり前じゃなくなり、それは卒業を控えた学年にはより重くのしかかっています。せめて卒業式の日友達と過ごす最後の写真が残せるような融通をきかせていただきたい。先生が朝に回収しても構いません。保護者が自由に動けない、教室に入れない卒業式の日、子供たちのデジカメ、スマホの持ち込み、式後の決められた時間での撮影等検討いただきたい。
- なし
- など) や今以上のプログラミング学習など将来に直結するような教育を期待します。

- 学級数より、1学級20人を実現してほしい
- 校長先生に一任するのではなく市としての小学校及び中学の統一も考える。また中学別にみても学力の差もありすぎるのではないかと思う。
- 今6丁目に住んでいて、小学校も遠いし、中学校はハイキングかという位に徒歩30分以上かかる。自転車を認めるべき
- 今ない部活動を新しく設ける際に柔軟に対応してほしい。
- 次年度の6年生から、城山台の一部の子供達が、木津南中学に入学予定と聞いています。今も多人数の学校であるのに、今よりも生徒数が増えることに、不安を感じます。泉川中学校の生徒数が減っていると聞きますので、そちらへ通うことも対策として考えて欲しいです。
- 若い教師の言動と行動に対して目に余る。ウチの子に笑ってブサイクやなあ～って言うた事は絶対に許されない。イキった生徒を無理に来させず逆に来させないで欲しい。他の生徒の学力低下に繋がるし バカがうつる。
- 集団だけに意識した教育ではなく、個性を活かせる教育を実施してほしいです。その為には、先生方にゆとりを持たせられる勤務環境が必要です。
- 小学校、中学校の不登校児、行きしぶり児に対する教室を設けて、スクールカウンセラー、臨床心理士、養護教諭など専門職員が常駐し、心のオアシスとなるような温かい空間を作っていただきたい。
- 小中学校の自主学習を宿題にするのはやめてほしい。午前に提出するのを忘れて午後に提出したら、次回の提出は倍の6ページとか…ありえない。また、発達障害の手前の症状の息子は普通の人の倍以上勉強に時間がかかるのでやめてほしい。
- 色々な環境で戸惑う子供達に寄り添える環境づくり、フォローアップができる環境をさらに構築してもらえるように願います。
- 人数が多くなりクラス分けもと思いますが、人数が現象している学校への分散登校や、子どもの新しい環境作りとして子どもの分配をしてより良い教育環境を整えて欲しい
- 中学で京都府に蔓延防止が出ると、活動するクラブとしない部活があった。今の中学生はほとんど部活ができないので、外部のクラブに入部するので部活入部者が少なくなっています。学校の活発化を望みます。
- 特になし
- 抜本的な教育改革が必要。グローバルを目指すなら AET の常設及び人数拡大。学校独自の特化分野を造るなどの工夫。その際、上記設問にあったように通学圏内の拡大やスクールバス導入及び学校選択制も視野に入れる。
- 不登校児童や生徒も増えていると思います。その子達が行けるような環境を整えていただきたいです
- 木津川市として、学校の通知表のあり方を考えて欲しい。学校の偏差値の差がある

ので、内申が取りにくい学校では、受験の時に、スタートラインにも立てない。

泉川中学校（6件）

- 安易な統廃合はしてほしくない。
- 下の息子が小学生6年生です。中学校の先生に社会を習っていると聞きましたが、教え方が難しいと言っていました。小中一貫もこのようないわゆることがあるのでは？
- 今ある地域の小中学校は、地域の核となっている場所であり、統合してしまうと、地域を守る若人が流出します。安心安全な住環境を守れず、いずれ限界集落となります。今ある郷土を未来に繋ぐために、小中学校の統廃合は望みません。
- 子どもは学校で学力を伸ばすためだけではなく、人との関わりによって学ぶ事沢山あります。学校の規模が大きいから沢山の学びがある訳では無く、どんな人とどの様な関わり方をしてきたかが学びに繋がるので、地域毎に特色も違うし目指す教育も違うものだから、安易に統廃合などを検討するより、地域ごとに特色のアピールを競わせて行きたい学校を選べる様にして欲しい。
- 少人数の小学校から中学校になった際に、子どもたちに動搖があったように思います。実際に子どもたちがどのように感じているのか、感じたのか、卒業生を含めて子どもたちの思いを聞いてほしいです。
- 全て一括りに統廃合しないで、地域の声を聞いてほしい。恭仁小は必要。教育以外の役割も大きい。中学や他校と連携するのはいいと思う。

山城中学校（4件）

- 外部の部活への参加可能のシステムはとても素晴らしいと思うが、実質は外部だから参加できないという制約が多すぎる。平等に参加できる権利と言いながら、実際は理不尽な対応も多い。逆にしたくない経験も多い。平等性を持ってほしい。
- 基本、1000人超規模の小中学校が存在することに反対です。子どもにとっていいことは一つもありません。大規模校は、分校等を作るべきです。大規模校の時期に在籍していた子どもたちが可哀想です。
- 子供たちが減少することが予想されます。それに応じて、適宜変えていけばよいと思う。人数が少なすぎるのであれば、ひとつにまとめてスクールバスでもよい。
- 自転車通学は危険箇所がありスクールバスが望ましい。雨の日、遅い日街灯が少なく危険。何かあった時に連絡する手段が無い。